

改 正 後	現 行																								
第 1 部 （略）	第 1 部 （略）																								
第 2 部 地質調査業務	第 2 部 地質調査業務																								
第 1 章 地質調査積算基準	第 1 章 地質調査積算基準																								
1－1 （略）	1－1 （略）																								
1－2 地質調査業務費	1－2 地質調査業務費																								
1－2－1 （略）	1－2－1 （略）																								
1－2－2 地質調査業務費構成費目の内容	1－2－2 地質調査業務費構成費目の内容																								
1 一般調査業務費 一般調査業務費は、高度な技術的判定を含まない単純な地質調査である。 なお、費目毎の内容及び積算方法は、次のとおり。	1 一般調査業務費 一般調査業務費は、高度な技術的判定を含まない単純な地質調査である。 なお、費目毎の内容及び積算方法は、次のとおり。																								
（1）純調査費	（1）純調査費																								
① （略）	① （略）																								
② 間接調査費 間接調査費は、業務処理に必要な経費のうち、次のアからケに掲げるものとし、それぞれ積上げにより計上するものとする。	② 間接調査費 間接調査費は、業務処理に必要な経費のうち、次のアからケに掲げるものとし、それぞれ積上げにより計上するものとする。																								
ア 運搬費 機械器具の運搬は、機械器具及び資機材運搬、乱さない試料やコアの運搬、現場内小運搬及び作業員の輸送に要する費用とする。 <u>運搬費は、最寄りの積算基地から現地までの資機材等の搬入、搬出（機械器具等運搬）を対象とする。</u> <u>ボーリング用資機材等の搬入、搬出は、2t、3t、4t の 2.9t 吊りクレーン付きトラックによる運搬を標準（ボーリング用資材 1 編成分）とするが、これにより難しい場合は、別途、考慮するものとする。</u>	ア 運搬費 機械器具の運搬は、機械器具及び資機材運搬、乱さない試料やコアの運搬、現場内小運搬及び作業員の輸送に要する費用とする。 <u>（新設）</u>																								
3 t 車（2.9t クレーン付き）の場合 <u>（1 回当たり）</u>																									
<table><tr><th>項目</th><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘要</th></tr><tr><td>労務費</td><td>運転手(特殊)</td><td></td><td></td><td></td><td>α（人／h）×T</td></tr><tr><td>材料費</td><td>軽油</td><td></td><td></td><td></td><td>β（L／h）×T</td></tr><tr><td>機械経費</td><td>トラック損料</td><td>3t 車（クレーン付き）</td><td>時間 日</td><td>T 1</td><td>森林整備保全事業建設機械経費積算要領による ※換算する前の値を使用する</td></tr></table>	項目	名称	規格	単位	数量	摘要	労務費	運転手(特殊)				α （人／h）×T	材料費	軽油				β （L／h）×T	機械経費	トラック損料	3t 車（クレーン付き）	時間 日	T 1	森林整備保全事業建設機械経費積算要領による ※換算する前の値を使用する	
項目	名称	規格	単位	数量	摘要																				
労務費	運転手(特殊)				α （人／h）×T																				
材料費	軽油				β （L／h）×T																				
機械経費	トラック損料	3t 車（クレーン付き）	時間 日	T 1	森林整備保全事業建設機械経費積算要領による ※換算する前の値を使用する																				
<u>（注） 1 T＝運搬距離（km）÷30（km/h）：小数点以下第 2 位（第 3 位四捨五入）</u> <u>α＝年間標準運転日数÷年間標準運転時間</u> <u>β＝運転 1 時間当たり燃料消費量（L/h）</u>																									
<u>2 運転距離は、往路、復路の合計とする。</u>																									
イ～ケ （略）	イ～ケ （略）																								
③ （略）	③ （略）																								
（2） （略）	（2） （略）																								
2 解析等調査業務費 解析等調査業務費は、一般調査業務による調査資料等に基づき、解析、判定、工法選定等高度	2 解析等調査業務費 解析等調査業務費は、一般調査業務による調査資料等に基づき、解析、判定、工法選定等高度																								

な技術力を要する業務を実施する費用である。
なお、業務内容は、第2章 2－7 に定めるとおりとする。

3 (略)
1－3 (略)
1－4 地質調査業務費の積算方法
(略)

- 1 一般調査業務費
一般調査業務費＝直接調査費＋間接調査費＋諸経費
- (1) 直接調査費は、第2章 2－1 から 2－5 の各業務のうち該当するものについて積算するものとし、原則として、一般的に用いられる建設資材に関する物価資料（以下「物価資料」という。）に掲載されている市場単価（実勢価格）を用いて積算するものとする。
なお、これにより難しい場合には、見積りによることができる。
- (2) 間接調査費は、1－2－2の1（1）②のアからケに掲げるものを積上げ積算するものとし、第2章 2－6 の業務に該当するものについては、市場単価により積算するものとする。
また、施工管理費については、第2章 2－8 により積算するものとする。
- (3) (略)
- 2 解析等調査業務費
解析等調査業務費については、「第4部設計業務 第1章設計業務積算基準」による。

(削る)

な技術力を要する業務を実施する費用である。
なお、業務内容は、第2章 第8 に定めるとおりとする。

3 (略)
1－3 (略)
1－4 地質調査業務費の積算方法
(略)

- 1 一般調査業務費
一般調査業務費＝直接調査費＋間接調査費＋諸経費
- (1) 直接調査費は、第2章の第2から第6の各業務のうち該当するものについて積算するものとし、原則として、一般的に用いられる建設資材に関する物価資料（以下「物価資料」という。）に掲載されている市場単価（実勢価格）を用いて積算するものとする。
なお、これにより難しい場合には、見積りによることができる。
- (2) 間接調査費は、1－2－2の1（1）②のアからケに掲げるものを積上げ積算するものとし、第2章の第7の業務に該当するものについては、市場単価により積算するものとする。
また、施工管理費については、第2章 第9 により積算するものとする。
- (3) (略)
- 2 解析等調査業務費
(新設)

解析等調査業務費は、第8に定めた内容に留意し、次式により算定する。
解析等調査業務＝直接人件費＋直接経費＋その他原価＋一般管理費等

- (1) 直接人件費の算出
ア 直接人件費は、「表1－2 解析等調査業務の単価」に掲げる各業務ごとに算定するものとし、都道府県等が公表する標準の単価に、表1－3の補正係数を乗じて算定する。
イ このうち、「総合解析取りまとめ」業務については、表1－3の補正係数に加え、表1－4の補正係数を乗じて算定するものとする。
ウ 「資料整理取りまとめ」業務及び「断面図等の作成」業務については、表1－2で「直接調査分」とされた部分を上記1－4の「一般調査費」の直接調査費に計上するものとする。
エ 「打合せ」業務については、第2章第1の「1－1 打合せ等」の歩掛により算定するものとする。
また、中間打合せの回数は1回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

表1－2 解析等調査業務の単価

業務の内容	標準の単価
既存資料の収集・現地調査	<u>直接人件費(解析等調査業務費分)</u>
資料整理とりまとめ	<u>〃 (解析等調査業務費分)</u>
〃	<u>〃 (直接調査費分)</u>
断面図等の作成	<u>〃 (解析等調査業務費分)</u>
〃	<u>〃 (直接調査費分)</u>
総合解析取りまとめ	<u>〃 (解析等調査業務費分)</u>
打合せ	<u>〃 (解析等調査業務費分)</u>

表1－3 解析等調査業務の補正係数

<u>土質ボーリング</u>		<u>補正係数（計算式）</u>
<u>既存試料の収集・現地調査</u>	<u>直接人件費(解析等調査業務費分)</u>	<u>Y＝0.035X＋0.79</u>
<u>資料整理取りまとめ</u>	<u>直接人件費(解析等調査業務費分)</u>	<u>Y＝0.040X＋0.76</u>
<u>〃</u>	<u>直接人件費</u>	<u>Y＝0.040X＋0.76</u>

1－5 安全費の積算

安全費とは、当該地質調査業務を遂行するために安全対策上必要となる経費であり、現場状況により、以下の（１）又は（２）により算出した額とする。なお、安全対策上必要となる経費とは、主に現場の一般交通に対する交通誘導員、交通処理、掲示板、保安柵、保安灯、環境保全のための仮囲い等に要する費用のことをいう。ただし、第４章土質調査（海岸）は、適用外とする。

（１）・（２） （略）

	(直接調査費分)	
断面図等の作成	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X+0.76$
〃	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X+0.76$
総合解析取りまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.020X+0.88$

Y：補正係数 X：土質ボーリング本数

表１－４ 試験種目数別の補正係数（総合解析取りまとめ）

試験種目数	3 種以内	4～5 種	6～9 種
補正係数	1.00	1.20	1.30

(注) １．試験種目数別の補正

現地で行われる調査、室内試験等を含む調査の種目数は、３種以内を標準とし、これを超える場合には、補正する。

２．試験種目

サンプリング、標準貫入試験、動的円錐貫入試験、孔内載荷試験（プレッシャーメータ試験及びボアホールジャッキ試験）、現場透水試験、岩盤透水試験、間隙水圧試験、スウェーデン式サウンディング、オランダ式二重管コーン貫入試験、ポータブルコーン貫入試験、三成分コーン試験、電気式静的コーン貫入試験、オートマチックラムサウンディング、物理的性質試験、化学的性質試験、力学的性質試験、現場単位体積重量試験、平板載荷試験、現場 CBR 試験等の区分とする。

(２) 直接経費（積上計上分）

直接経費は、業務処理に必要な経費とし、次に示すものとする。

直接経費は、次の各項目について、積上げ積算するものとし、旅費交通費については、別に定める旅費等積算要領により積算するものとする。

なお、電子成果品作成費については、第２章第９により積算するものとする。

- ① 旅費交通費
- ② 電子成果品作成費
- ③ 電子計算機使用料及び機械器具損料
- ④ その他

(３) その他原価

当該業務担当部署の事務職員の人件費及び福利厚生費、水道光熱費等の経費及び各項目以外の必要経費とし、次式により算定した額の範囲内とする。

その他原価＝（直接人件費×α）／（１－α）

ただし、αは解析等調査原価（直接経費の積上計上分を除く）に占めるその他原価の割合であり、35%とする。

(４) 一般管理費等

一般管理費等は次式により算定した額の範囲内とする。

一般管理費等＝（解析等調査原価×β）／（１－β）

ただし、βは解析等調査業務費に占める一般管理費等の割合であり、35%とする。

1－5 安全費の積算

安全費とは、当該地質調査業務を遂行するために安全対策上必要となる経費であり、現場状況により、以下の（１）又は（２）により算出した額とする。なお、安全対策上必要となる経費とは、主に現場の一般交通に対する交通処理、掲示板、保安柵、保安灯、環境保全のための仮囲い等に要する費用のことをいう。ただし、第４章土質調査（海岸）は、適用外とする。

（１）・（２） （略）

第2章 地質調査標準歩掛等

第1 共通

1-1 打合せ等

打合せ等の歩掛は、次表のとおりとする。

(1 業務当たり)

区 分		主任技師	技師A	技師B	技師C	備 考
打合せ	業務着手時	0.5	0.5			(対面)
	中間打合せ	0.5		0.5		1 回当たり(対面)
	成果物納入時	0.5	0.5			(対面)
関係機関協議資料作成				0.25	0.25	1 機関当たり
関係機関打合せ協議			0.5	0.5		1 機関 1 回当たり(対面)

(注) 1～3 (略)

4. 関係機関打合せ協議の回数は、1 機関当たり 1 回程度とし、関係機関打合せ協議の回数を増減する場合は、1 回当たり関係機関打合せ協議 1 回の人員を増減する。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。

5 (略)

第2 機械ボーリング(土質ボーリング、岩盤ボーリング)

2-1 せん孔作業

2-1-1 適用範囲

(略)

1 市場単価が適用できる範囲

(略)

2-1-2 編成人員

(略)

2-1-3 市場単価の設定

1～4 (略)

2-1-4 適用に当たっての留意事項

(略)

2-2 サンプルング

(略)

2-2-1 適用範囲

(略)

1 市場単価が適用できる範囲

(略)

2-2-2 編成人員

(略)

2-2-3 市場単価の設定

1 市場単価の構成と範囲

(略)

第2章 地質調査業務の積算の留意事項

第1 共通

1-1 打合せ等

打合せ等の歩掛は、次表のとおりとする。

(1 業務当たり)

区 分		主任技師	技師A	技師B	技師C	備 考
打合せ	業務着手時	0.5	0.5			(対面)
	中間打合せ	0.5		0.5		1 回当たり(対面)
	成果物納入時	0.5	0.5			(対面)
関係機関協議資料作成				0.25	0.25	1 機関当たり
関係機関打合せ協議			0.5	0.5		1 機関当たり(対面)

(注) 1～3 (略)

4. 関係機関打合せ協議の回数は、1 機関当たり 1 回程度とする。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。

5 (略)

第2 機械ボーリング(土質ボーリング、岩盤ボーリング)

(新設)

2-1 適用範囲

(略)

2-1-1 市場単価が適用できる範囲

(略)

2-2 編成人員

(略)

2-3 市場単価の設定

2-3-1～2-3-4 (略)

2-4 適用に当たっての留意事項

(略)

第3 サンプルング

(略)

3-1 適用範囲

(略)

3-1-1 市場単価が適用できる範囲

(略)

3-2 編成人員

(略)

3-3 市場単価の設定

3-3-1 市場単価の構成と範囲

(略)

2-4-1 適用範囲

(略)

1 市場単価が適用できる範囲

(略)

2-4-2 編成人員

滞在費を算出するための現場内小運搬 1 回あたりの編成人員は、次表を標準とする。

職種 運搬方法	主任地質調査員	地質調査員
人肩	0.5	1.0
特装車	0.5	1.0
モノレール		0.5
<u>(削る)</u>		<u>(削る)</u>

2-4-3 市場単価の設定

1 市場単価の構成と範囲

(略)

2 市場単価の規格・仕様区分

表 2-14 現場内小運搬の規格区分

種 別・規 格		単位
人肩運搬	5 0 m以下 総運搬距離	t
	5 0 m超 1 0 0 m以下 //	//
特装車運搬(クローラ)	1 0 0 m以下 総運搬距離	//
	1 0 0 m超 3 0 0 m以下 //	//
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下 //	//
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下 //	//
モノレール運搬	5 0 m以下 総運搬距離	//
	5 0 m超 1 0 0 m以下 //	//
	1 0 0 m超 2 0 0 m以下 //	//
	2 0 0 m超 3 0 0 m以下 //	//
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下 //	//
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下 //	//
<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>
	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>
	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>

(注) 上表以外は、別途計上する。

表 2-15 現場内小運搬における架設・撤去の規格区分

種 別・規 格		単位
モノレール運搬	5 0 m以下 総設置距離	箇所
	5 0 m超 1 0 0 m以下 //	//
	1 0 0 m超 2 0 0 m以下 //	//
	2 0 0 m超 3 0 0 m以下 //	//
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下 //	//
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下 //	//
<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>
	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>
	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>

(注) 上表以外は別途計上する。

5-1 適用範囲

(略)

5-1-1 市場単価が適用できる範囲

(略)

5-2 編成人員

滞在費を算出するための現場内小運搬 1 回あたりの編成人員は、次表を標準とする。

職種 運搬方法	主任地質調査員	地質調査員
人肩	0.5	1.0
特装車	0.5	1.0
モノレール		0.5
索道		0.5

5-3 市場単価の設定

5-3-1 市場単価の構成と範囲

(略)

5-3-2 市場単価の規格・仕様区分

表 5-2 現場内小運搬の規格区分

種 別・規 格		単位
人肩運搬	5 0 m以下 総運搬距離	t
	5 0 m超 1 0 0 m以下 //	//
特装車運搬(クローラ)	1 0 0 m以下 総運搬距離	//
	1 0 0 m超 3 0 0 m以下 //	//
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下 //	//
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下 //	//
モノレール運搬	5 0 m以下 設置距離	//
	5 0 m超 1 0 0 m以下 //	//
	1 0 0 m超 2 0 0 m以下 //	//
	2 0 0 m超 3 0 0 m以下 //	//
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下 //	//
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下 //	//
索道運搬	1 0 0 m以下 設置距離	//
	1 0 0 m超 5 0 0 m以下 //	//
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下 //	//

(注) 上表以外は、別途計上する。

表 5-3 現場内小運搬における架設・撤去の規格区分

種 別・規 格		単位
モノレール運搬	5 0 m以下	箇所
	5 0 m超 1 0 0 m以下	//
	1 0 0 m超 2 0 0 m以下	//
	2 0 0 m超 3 0 0 m以下	//
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下	//
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下	//
索道運搬	1 0 0 m以下 吊り下げ荷重 1t	//
	1 0 0 m超 5 0 0 m以下 //	//
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下 //	//

(注) 上表以外は別途計上する。

表 2－16 現場内小運搬における機械器具損料の規格区分

種 別・規 格		単位
モノレール運搬	5 0 m以下 総設置距離	日
	5 0 m超 1 0 0 m以下 〃	〃
	1 0 0 m超 2 0 0 m以下 〃	〃
	2 0 0 m超 3 0 0 m以下 〃	〃
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下 〃	〃
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下 〃	〃
（削る）	（削る）	（削る）
	（削る）	（削る）
	（削る）	（削る）

（注）上表以外は別途計上する。

3 補正係数の設定

表 2－17 標高差における距離の補正係数
（略）

4 間接調査費の算出

（1）・（2） （略）

2－4－4 適用に当たつての留意事項

（略）

2－4－5 日当たりの作業量

日当たり作業量は、下表を標準とする。

表 2－18 現場内小運搬の日当たり作業量

種 別・規 格		単位	日当たり作業量
人肩運搬	5 0 m以下	t	3.2
	5 0 m超 1 0 0 m以下	〃	1.3
特装車運搬（クローラ）	1 0 0 m以下	〃	3.5
	1 0 0 m超 3 0 0 m以下	〃	1.9
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下	〃	1.4
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下	〃	1.2
モノレール運搬	5 0 m以下	〃	3.4
	5 0 m超 1 0 0 m以下	〃	2.8
	1 0 0 m超 2 0 0 m以下	〃	2.3
	2 0 0 m超 3 0 0 m以下	〃	1.0
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下	〃	1.0
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下	〃	1.0
（削る）	（削る）	（削る）	（削る）
	（削る）	（削る）	（削る）
	（削る）	（削る）	（削る）

表 2－19 現場内小運搬における架設の日当たり作業量

種 別・規 格		単位	日当たり作業量
モノレール運搬	1 0 0 m以下	箇所	1.2
	5 0 m超 1 0 0 m以下	〃	0.6
	1 0 0 m超 2 0 0 m以下	〃	0.3
	2 0 0 m超 3 0 0 m以下	〃	0.2
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下	〃	0.16
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下	〃	0.08
（削る）	（削る）	（削る）	（削る）
	（削る）	（削る）	（削る）

表 5－4 現場内小運搬における機械器具損料の規格区分

種 別・規 格		単位
モノレール運搬	5 0 m以下	日
	5 0 m超 1 0 0 m以下	〃
	1 0 0 m超 2 0 0 m以下	〃
	2 0 0 m超 3 0 0 m以下	〃
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下	〃
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下	〃
索道運搬	1 0 0 m以下 吊下げ荷重 1t	〃
	1 0 0 m超 5 0 0 m以下 〃	〃
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下 〃	〃

（注）上表以外は別途計上する。

5－3－3 補正係数の設定

表 5－5 標高差における距離の補正係数
（略）

5－3－4 間接調査費の算出

1・2 （略）

5－4 適用にあたつての留意事項

（略）

5－5 日当たりの作業量

日当たり作業量は、下表を標準とする。

表 5－6 現場内小運搬の日当たり作業量

種 別・規 格		単位	日当たり作業量
人肩運搬	5 0 m以下	t	3.2
	5 0 m超 1 0 0 m以下	〃	1.3
特装車運搬（クローラ）	1 0 0 m以下	〃	3.5
	1 0 0 m超 3 0 0 m以下	〃	1.9
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下	〃	1.4
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下	〃	1.2
モノレール運搬	5 0 m以下	〃	3.4
	5 0 m超 1 0 0 m以下	〃	2.8
	1 0 0 m超 2 0 0 m以下	〃	2.3
	2 0 0 m超 3 0 0 m以下	〃	1.0
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下	〃	1.0
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下	〃	1.0
索道運搬	1 0 0 m以下	〃	5.0
	1 0 0 m超 5 0 0 m以下	〃	4.0
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下	〃	3.0

表 5－7 現場内小運搬における架設の日当たり作業量

種 別・規 格		単位	日当たり作業量
モノレール運搬	1 0 0 m以下	箇所	1.2
	5 0 m超 1 0 0 m以下	〃	0.6
	1 0 0 m超 2 0 0 m以下	〃	0.3
	2 0 0 m超 3 0 0 m以下	〃	0.2
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下	〃	0.16
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下	〃	0.08
索道運搬	1 0 0 m以下	〃	0.41
	1 0 0 m超 5 0 0 m以下	〃	0.19

	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>
--	-------------	-------------	-------------

表 2－20 現場内小運搬における撤去の日当たり作業量

種 別・規 格		単位	日当たり作業量
モノレール運搬	1 0 0 m以下	箇所	1. 66
	5 0 m超 1 0 0 m以下	〃	0. 74
	1 0 0 m超 2 0 0 m以下	〃	0. 60
	2 0 0 m超 3 0 0 m以下	〃	0. 35
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下	〃	0. 31
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下	〃	0. 10
	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>
<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>
	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>
	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>

2－5 足場仮設

2－5－1 適用範囲

- 市場単価が適用できる範囲
(略)

2－5－2 編成人員

(略)

2－5－3 市場単価の設定

- 市場単価の構成と範囲
(略)

2 市場単価の規格・仕様区分

表 2－21 足場仮設の規格区分

種 別・規 格		単位
平坦地足場	高さ 0.3m以下	箇所
	高さ 0.3m超	〃
湿地足場		〃
傾斜地足場	地形傾斜 15°以上 30°未満	〃
	地形傾斜 30°以上 45°未満	〃
	地形傾斜 45°以上 60°未満	〃
水上足場	水深 1m以下	〃
	水深 3m以下	〃
	水深 5m以下	〃
	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>

(注) 上表以外は別途計上する。

3 補正係数の設定

- 表 2－22 現場透水試験の補正係数
(略)

4 間接調査費の算出

(略)

2－5－4 適用に当たつての留意事項

(略)

2－5－5 日当たりの作業量

日当たり作業量は、下表を標準とする。

表 2－23 足場仮設の日当たり作業量（設置・撤去）

種 別・規 格	単位	日当たり作業量
---------	----	---------

	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下	〃	0. 11
--	----------------------	---	-------

表 5－8 現場内小運搬における撤去の日当たり作業量

種 別・規 格		単位	日当たり作業量
モノレール運搬	1 0 0 m以下	箇所	1. 66
	5 0 m超 1 0 0 m以下	〃	0. 74
	1 0 0 m超 2 0 0 m以下	〃	0. 60
	2 0 0 m超 3 0 0 m以下	〃	0. 35
	3 0 0 m超 5 0 0 m以下	〃	0. 31
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下	〃	0. 10
	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>
索道運搬	1 0 0 m以下	〃	0. 65
	1 0 0 m超 5 0 0 m以下	〃	0. 23
	5 0 0 m超 1 0 0 0 m以下	〃	0. 13

第 6 足場仮設

6－1 適用範囲

- 6－1－1 市場単価が適用できる範囲
(略)

6－2 編成人員

(略)

6－3 市場単価の設定

6－3－1 市場単価の構成と範囲

(略)

6－3－2 市場単価の規格・仕様区分

表 6－1 足場仮設の規格区分

種 別・規 格		単位
平坦地足場	高さ 0.3m以下	箇所
	高さ 0.3m超	〃
湿地足場		〃
傾斜地足場	地形傾斜 15°以上 30°未満	〃
	地形傾斜 30°以上 45°未満	〃
	地形傾斜 45°以上 60°未満	〃
水上足場	水深 1m以下	〃
	水深 3m以下	〃
	水深 5m以下	〃
	水深 10m以下	〃

(注) 上表以外は別途計上する。

6－3－3 補正係数の設定

- 表 6－2 現場透水試験の補正係数
(略)

6－3－4 間接調査費の算出

(略)

6－4 適用にあたつての留意事項

(略)

6－5 日当たりの作業量

日当たり作業量は、下表を標準とする。

表 6－3 足場仮設の日当たり作業量（設置・撤去）

種 別・規 格	単位	日当たり作業量
---------	----	---------

平坦地足場	高さ 0.3m以下	箇所	2.0
	高さ 0.3m超	〃	1.25
湿地足場		〃	1.0
傾斜地足場	地形傾斜 15°以上 30°未満	〃	1.0
	地形傾斜 30°以上 45°未満	〃	0.5
	地形傾斜 45°以上 60°未満	〃	0.5
水上足場	水深 1m以下	〃	0.5
	水深 3m以下	〃	0.5
	水深 5m以下	〃	0.3
	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>	<u>(削る)</u>

2－6 その他間接調査費

2－6－1 適用範囲

(略)

- 1 市場単価が適用できる範囲
(略)

2－6－2 編成人員

(略)

2－6－3 市場単価の設定

- 1 市場単価の構成と範囲
(略)

- 2 市場単価の規格・仕様区分

表 2－24 その他間接調査費の規格区分
(略)

- 3 補正係数の設定

表 2－25 その他間接調査費における距離の補正係数
(略)

- 4 間接調査費の算出
(略)

2－6－4 適用に当たつての留意事項

(略)

2－6－5 日当たりの作業量

日当たり作業量は、下表を標準とする。

表 2－26 その他間接調査費の日当たり作業量
(略)

2－7 解析等調査業務

2－7－1・2－7－2 (略)

2－7－3 単価の構成と範囲

- 1 既存資料の収集・現地調査
 (1) (略)
 (2) 単価は、コピー代等を含む。
 2～4 (略)
5 打合せ

平坦地足場	高さ 0.3m以下	箇所	2.0
	高さ 0.3m超	〃	1.25
湿地足場		〃	1.0
傾斜地足場	地形傾斜 15°以上 30°未満	〃	1.0
	地形傾斜 30°以上 45°未満	〃	0.5
	地形傾斜 45°以上 60°未満	〃	0.5
水上足場	水深 1m以下	〃	0.5
	水深 3m以下	〃	0.5
	水深 5m以下	〃	0.3
	<u>水深 10m以下</u>	<u>〃</u>	<u>0.3</u>

第 7 その他間接調査費

7－1 適用範囲

(略)

- 7－1－1 市場単価が適用できる範囲
(略)

7－2 編成人員

(略)

7－3 市場単価の設定

- 7－3－1 市場単価の構成と範囲
(略)

- 7－3－2 市場単価の規格・仕様区分

表 7－1 その他間接調査費の規格区分
(略)

- 7－3－3 補正係数の設定

表 7－2 その他間接調査費における距離の補正係数
(略)

- 7－3－4 間接調査費の算出
(略)

7－4 適用にあたつての留意事項

(略)

7－5 日当たりの作業量

日当たり作業量は、下表を標準とする。

表 7－3 その他間接調査費の日当たり作業量
(略)

第 8 解析等調査業務

8－1・8－2 (略)

8－3 単価の構成と範囲

- 1 既存資料の収集・現地調査
 (1) (略)
 (2) 単価は、フィルム代、現像代、コピー代等を含む。
 2～4 (略)
(新設)

中間打合せの回数は1回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。

2-7-4 単価の規格・仕様区分

表2-27 解析等調査業務の単価

業務の内容	標準の単価	単位
既存資料の収集・現地調査	直接人件費(解析等調査業務費分)	業務
資料整理取りまとめ	// (解析等調査業務費分)	//
//	// (直接調査費分)	//
断面図等の作成	// (解析等調査業務費分)	//
//	// (直接調査費分)	//
総合解析取りまとめ	// (解析等調査業務費分)	//
打合せ	// (解析等調査業務費分)	//

(新設)

2-7-5 補正係数の設定表

1 解析等調査業務

表2-28 解析等調査業務の補正係数

土質ボーリング		補正係数(計算式)
既存試料の収集・現地調査	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.035X+0.79$
資料整理取りまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X+0.76$
//	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X+0.76$
断面図等の作成	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.040X+0.76$
//	直接人件費 (直接調査費分)	$Y=0.040X+0.76$
総合解析取りまとめ	直接人件費 (解析等調査業務費分)	$Y=0.020X+0.88$

Y: 補正係数 X: 土質ボーリング本数

2 試験種目数別の補正係数(総合解析取りまとめ)

表2-29 試験種目数別の補正係数(総合解析取りまとめ)

試験種目数	3種以内	4~5種	6~9種
補正係数	1.00	1.20	1.30

(注) 1. 試験種目数別の補正

現地で行われる調査、室内試験等を含む調査の種目数は、3種以内を標準とし、これを超える場合には、補正する。

2. 試験種目

サンプリング、標準貫入試験、動的円錐貫入試験、孔内載荷試験(プレッシャーメータ試験及びボアホールジャッキ試験)、現場透水試験、岩盤透水試験、間隙水圧試験、スウェーデン式サウンディング、オランダ式二重管コーン貫入試験、ポータブルコーン貫入試験、三成分コーン試験、電気式静的コーン貫入試験、オートマチックラムサウンディング、物理的性質試験、化学的性質試験、力学的性質試験、現場単位体積重量試験、平板載荷試験、現場CBR試験等の区分とする。

(新設)

<u>3 直接人件費の算出</u> 直接人件費は、「表 2－27 解析等調査業務の単価」に掲げる業務ごとに算定するものとし、都道府県等が公表する標準の単価に、表 2－28 の補正係数を乗じて算定する。 このうち、「総合解析取りまとめ」については、表 2－28 の補正係数に加え、表 2－29 の補正係数を乗じて算定するものとする。 「資料整理取りまとめ」及び「断面図等の作成」については、表 2－27 で「直接調査費分」とされた部分を「第 2 部地質調査業務 第 1 章地質調査積算基準 1－4 地質調査業務費の積算方法」の「1 一般調査業務費」の直接調査費に計上するものとする。
<u>2－8 電子成果品作成費等</u>
<u>2－8－1～2－8－3</u> （略）
<u>（削る）</u>
第 3 弾性波探査業務
<u>3－1～3－3</u> （略）
<u>3－4 解析等調査業務費及び直接調査費</u>
<u>3－4－1・3－4－2</u> （略）
<u>3－5 間接調査費</u>
<u>3－5－1 準備費</u> （略）
<u>3－6・3－7</u> （略）
第 4 軟弱地盤技術解析
<u>4－1 軟弱地盤技術解析積算基準</u>
<u>4－1－1 適用範囲</u> 軟弱地盤解析は、軟弱地盤上の盛土、構造物（地下構造物、直接基礎含む）を施工するにあたり、地質調査で得られた資料を基に、基礎地盤、盛土、工事に伴い影響する周辺地盤等について、下記 <u>4－1－4</u> 業務内容における 3 「現況軟弱地盤の解析」、4 「検討対策工法の選定」、5 「対策後地盤解析」、6 「最適工法の決定」で示す検討を行う場合に適用する。
<u>4－1－2～4－1－4</u> （略）
<u>4－2 軟弱地盤技術解析業務</u>
<u>4－2－1 標準歩掛</u> この歩掛は、道路、河川及びこれらに類する軟弱地盤技術解析に適用する。 （略） <u>表 4－1</u> 検討断面が複数になる場合の補正 （略）
<u>4－2－2・4－2－3</u> （略）

第 9 電子成果品作成費等
<u>9－1～9－3</u> （略）
第 3 章 地質調査業務標準歩掛
第 1 弾性波探査業務
<u>1－1～1－3</u> （略）
<u>1－4 解析等調査業務費及び直接調査費</u>
<u>1－4－1・1－4－2</u> （略）
<u>1－5 間接調査費</u>
<u>1－5－1 準備費</u> （略）
<u>1－6・1－7</u> （略）
第 2 軟弱地盤技術解析
<u>2－1 軟弱地盤技術解析積算基準</u>
<u>2－1－1 適用範囲</u> 軟弱地盤解析は、軟弱地盤上の盛土、構造物（地下構造物、直接基礎含む）を施工するにあたり、地質調査で得られた資料を基に、基礎地盤、盛土、工事に伴い影響する周辺地盤等について、下記 <u>2－1－4</u> 業務内容における 3 「現況軟弱地盤の解析」、4 「検討対策工法の選定」、5 「対策後地盤解析」、6 「最適工法の決定」で示す検討を行う場合に適用する。
<u>2－1－2～2－1－4</u> （略）
<u>2－2 軟弱地盤技術解析業務</u>
<u>2－2－1 標準歩掛</u> この歩掛は、道路、河川及びこれらに類する軟弱地盤技術解析に適用する。 （略） <u>表 2－1</u> 検討断面が複数になる場合の補正 （略）
<u>2－2－2・2－2－3</u> （略）
第 3 地すべり調査

第5 地すべり調査

5－1 適用範囲と作業内容
(略)
(削る)

3－1 適用範囲と作業内容
(略)

作業区分		作業内容
計画準備		実施計画書を作成、提出する。また、地すべり調査の実施の予備調査として、次の事項を実施する。 「既存資料調査」： 対象地の地すべり付近の地形、地質、水文、地すべりの分布、滑動履歴等既存資料を収集する。 「地形判読作業」： 地形図、空中写真などを用いて地すべりブロックを判定し、その周辺の地形分類、埋谷画図などを必要に応じて作成する。 「現地調査」： 地形、地質、水文、滑動現況及び履歴等の現地調査を行い、地すべり現況を明らかにするとともに、調査計画、応急対策計画の概要を調査する。これには、主測線、その他地すべり調査計画上必要な基準線となる測線を定める作業も含む。
移動変形調査	伸縮計による調査	一般に地すべり地の頭部ではテンション、末端部や隆起部ではコンプレッションが働き、地表にクラックや圧縮が生ずる。この地表の動きを測定して、地すべり活動の様子、地すべり機構を知るための調査を行う。
	傾斜計による調査	地すべりによる地表の傾斜変動を測定し、地すべり変動を確認する。
	パイプ式歪計による調査	パイプ式歪計は、外形 48～68mm の塩ビ管外周軸方向で、直行する 2 方向、又は、1 方向にペーパーストレインゲージを 1.0m 間隔に装置したものをボーリング孔に設置し、ゲージの歪量を測定し、すべり面の位置を確認する。
	挿入式孔内傾斜計による調査	挿入型孔内傾斜計は、通常 86mm 以上の孔径で削孔したボーリング孔に溝付の塩化ビニールパイプ、あるいはアルミケーシングパイプを地表面から不動層まで埋設した後、プローブに取り付けられた車輪をパイプの溝に合わせて降下して 0.5m あるいは 1.0m 毎にパイプの傾きを検出し、指示計に表示される傾き量あるいは変位量を読み取るもので、X 方向、Y 方向の地盤の変形方向、大きさを調べる。
解析	地盤特性検討	基礎地盤調査資料並びに移動変位調査から、「地すべり規模」、「地形特性」、「地質特性」、「地下構造特性」、「地下水特性」等、総合的

5－4－1 地下水位測定

本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(1) 設置

(1孔当たり)

種別	細別	単位	数量	摘要
人件費	地質調査技師	人	0.4	
	主任地質調査員	//	0.5	
	地質調査員	//	0.7	
材料費		式	1	人件費の73%

(注) 材料費には次のものを含む。塩ビパイプ、固定金具、収納箱、雑品

(2) 観測

(1孔当たり 1回当たり)

種別	細別	単位	数量	摘要
人件費	主任地質調査員	人	0.07	人件費の8%
	地質調査員	//	0.07	
材料費	雑品	式	1	
機械損料	地下水位計	孔・日		

(注) 機械損料＝延べ供用日数×日当たり損料

(3) 資料整理

(1孔当たり 1回当たり)

種別	細別	単位	数量	摘要
人件費	主任地質調査員	人	0.2	人件費の7%
材料費	雑品	式	1	

(4) 撤去

(1孔当たり)

種別	細別	単位	数量	摘要
人件費	地質調査技師	人	0.2	
	主任地質調査員	//	0.2	
	地質調査員	//	0.4	

5－4－2～5－4－5 (略)

5－4－6 揚水試験

1 簡易揚水試験（観測）

(略)

(注) 1. 本表は、調査ボーリング孔を利用し、3～5m掘削ごとに1回の観測を行う場合の歩掛であり、その資料の整理・解析等は、5－5－1－(1)「簡易揚水試験資料の解析」による。

2. ～4. (略)

2 揚水試験（観測）

(略)

(注) 1. ～5. (略)

6. 観測結果の資料の整理・解析等は、5－5－1－(2)「揚水試験資料の解析」による。

5－4－7 (略)

<u>3－4－1～3－4－4</u> (略)	
<u>3－4－5 揚水試験</u>	
1 簡易揚水試験（観測）	
(略)	
(注) 1. 本表は、調査ボーリング孔を利用し、3～5m掘削ごとに1回の観測を行う場合の歩掛であり、その資料の整理・解析等は、 <u>3－5－1－(1)</u> 「簡易揚水試験解析」による。	
2. ～4. (略)	
2 揚水試験（観測）	
(略)	
(注) 1. ～5. (略)	
6. 観測結果の資料の整理・解析等は、 <u>3－5－1－(2)</u> 「揚水試験解析」による。	
<u>3－4－6</u> (略)	
<u>3－4－7 地下水検層</u>	

5－4－8 地下水検層 1 地下水検層（自然水位検層、汲み上げ検層）観測（略）（注）1．・2．（略）3．観測結果の資料の整理・解析等は、5－5－2「地下水検層解析」による。 2 地下水検層（ステップ検層）観測（略）（注）1．～3．（略）4．観測結果の資料の整理・解析等は、5－5－2「地下水検層解析」による。 5－5 解析 5－5－1～5－5－6（略） 5－6～5－8（略） 5－9 電子成果品作成費 5－9－1・5－9－2（略） 第6 土質調査（海岸） 6－1 総則 6－1－1～6－1－4（略） 6－2・6－3（略） 6－4 足場 1 仮設足場の選定 （1）足場の設定基準 足場の選定は、仕様書の明記による以外は、以下を標準とする。（略） （注）鋼製櫓による足場の組立解体及び設置・撤去・移設の歩掛は、「参考資料－1 鋼製櫓による足場」を適用する。陸上足場については、第2部第2章2－5－3表2－21を適用する。 （2）（略） 2～5（略） 6－5 ボーリング 6－5－1～6－5－3（略） 6－6 原位置試験及び乱れの少ない試料採取（略） 6－6－1（略） 6－6－2 原位置試験及び乱れの少ない試料採取（陸上施工） 第2部第2章2－2サンプリング及び2－3サウンディング及び原位置試験を適用する。 6－7 土質試験（略）	1 地下水検層（自然水位検層、汲み上げ検層）観測（略）（注）1．・2．（略）3．観測結果の資料の整理・解析等は、3－5－2「地下水検層解析」による。 2 地下水検層（ステップ検層）観測（略）（注）1．～3．（略）4．観測結果の資料の整理・解析等は、3－5－2「地下水検層解析」による。 3－5 解析 3－5－1～3－5－6（略） 3－6～3－8（略） 3－9 電子成果品作成費 3－9－1・3－9－2（略） 第4 土質調査（海岸） 4－1 総則 4－1－1～4－1－4（略） 4－2・4－3（略） 4－4 足場 1 仮設足場の選定 （1）足場の設定基準 足場の選定は、仕様書の明記による以外は、以下を標準とする。（略） （注）鋼製櫓による足場の組立解体及び設置・撤去・移設の歩掛は、「参考資料－1 鋼製櫓による足場」を適用する。陸上足場については、第2部第2章6－3－2表6－1を適用する。 （2）（略） 2～5（略） 4－5 ボーリング 4－5－1～4－5－3（略） 4－6 原位置試験及び乱れの少ない試料採取（略） 4－6－1（略） 4－6－2 原位置試験及び乱れの少ない試料採取（陸上施工） 第2部第2章第3サンプリング及び第4サウンディング及び原位置試験を適用する。 4－7 土質試験（略） 4－8 成 果
---	---

6－8 成 果

6－8－1 報告書作成

第2部第2章2－7－4表2－27資料整理とりまとめ（直接調査費分）及び断面図等の作成（直接調査費分）を適用する。

6－8－2 電子成果品

報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、第2部第2章2－8－1電子成果品作成費により算出する。

6－9～6－15 （略）

補足資料―1・参考資料―1 （略）

4－8－1 報告書作成

第2部第1章表1－2資料整理とりまとめ（直接調査費分）及び断面図等の作成（直接調査費分）を適用する。

4－8－2 電子成果品

報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、第2部第2章9－1電子成果品作成費により算出する。

4－9～4－15 （略）

補足資料―1・参考資料―1 （略）

第 3 部 測量業務

第 1 章 測量業務積算基準

1－1 (略)

1－2 測量業務費

1－2－1 (略)

1－2－2 測量業務費構成費目の内訳

1 測量作業費

測量作業費は、測量作業に要する費用で、直接測量費、間接測量費及び一般管理費等で構成する。

(1) 直接測量費

直接測量費は、測量作業を実施するために直接必要な費用で、直接人件費、材料費、機械経費、直接経費及び技術管理費で構成する。

①～④ (略)

⑤ 直接経費

ア～オ (略)

カ その他

器材運搬、伐木補償及び車借上料等に要する費用を計上する。

⑥ (略)

(2) (略)

2・3 (略)

1－3 測量業務費の積算方式

1－3－1～1－3－3 (略)

第 3 部 測量業務

第 1 章 測量業務積算基準

1－1 (略)

1－2 測量業務費

1－2－1 (略)

1－2－2 測量業務費構成費目の内訳

1 測量作業費

測量作業費は、測量作業に要する費用で、直接測量費、間接測量費及び一般管理費等で構成する。

(1) 直接測量費

直接測量費は、測量作業を実施するために直接必要な費用で、直接人件費、材料費、機械経費、直接経費及び技術管理費で構成する。

①～④ (略)

⑤ 直接経費

ア～オ (略)

カ その他

器材運搬、伐木補償、印刷製本及び車借上料等に要する費用を計上する。

⑥ (略)

(2) (略)

2・3 (略)

1－3 測量業務費の積算方式

1－3－1～1－3－3 (略)

1－3－4 技術管理費の積算

技術管理費は、精度管理費に成果検定費を加えたものとする。
(技術管理費) = (精度管理費) + (成果検定費)

1 精度管理費

精度管理費は、精度管理、機械器具の検定に必要な経費であり、直接測量費のうち直接人件費及び機械経費の合計額に精度管理費係数を乗じて得た額とする。
(精度管理費) = {(直接人件費) + (機械経費)} × (精度管理費係数)

なお、精度管理費係数は、表 1－4 によるものとするが、その内容が技術的に極めて高度であるとき、又は極めて複雑困難であるときは、5%を超えない範囲で増すことができる。

表 1－4 精度管理費係数

測 量 作 業 種 別			精度管理費 係 数
基準点測量	1 級基準点測量		0.10
	2 級基準点測量		0.09
	3 級基準点測量		0.09
	4 級基準点測量		0.09
	1 級水準測量（レベル等による）		0.09
	2 級水準測量（レベル等による）		0.09
	3 級水準測量（レベル等による）		0.09
	4 級水準測量（レベル等による）		0.09
応用測量	路線測量、一車線林道測量		0.10
	深浅測量		0.09
	用地測量		0.07
	溪間工測量		0.10
	山腹工測量		0.05
地形測量	空中写真測量	撮影(デジタル) <u>(削る)</u> <u>(削る)</u>	0.05 <u>(削る)</u>
		対空標識の設置	0.03
		標定点測量	0.02
		簡易水準測量	0.05
		同時調整	0.05
		数値図化（地図情報レベル 1000）	0.07
		数値図化（地図情報レベル 2500）	0.03
	測線測量		0.05
	現地測量		0.05
	航空レーザ測量（地図情報レベル 1000）		0.03
<u>三次元点群測量</u>	<u>UAV 写真測量</u>		<u>0.06</u>
	<u>地上レーザ測量</u>		<u>0.07</u>

(注) 1.・2. (略)
3. 用地測量の作業計画、現地踏査、公図等の転写、地積測量図転写、土地の登記記録調査、権利者確認調査（当初）、権利者確認調査（追跡）、公図等転写連続図作成、境界確認、土地境界確認書作成及び用地幅杭設置は精度管理費係数の対象としない。
4. ～6. (略)
7. UAV 写真測量及び地上レーザ測量の作業計画は精度管理費係数の対象としない。
8. 航空レーザ測量（地図情報レベル 500）及び UAV レーザ測量の精度管理係数は別途計上とする。

1－3－4 技術管理費の積算

技術管理費は、精度管理費に成果検定費を加えたものとする。
(技術管理費) = (精度管理費) + (成果検定費)

1 精度管理費

精度管理費は、精度管理、機械器具の検定に必要な経費であり、直接測量費のうち直接人件費及び機械経費の合計額に精度管理費係数を乗じて得た額とする。
(精度管理費) = {(直接人件費) + (機械経費)} × (精度管理費係数)

なお、精度管理費係数は、表 1－4 によるものとするが、その内容が技術的に極めて高度であるとき、又は極めて複雑困難であるときは、5%を超えない範囲で増すことができる。

表 1－4 精度管理費係数

測 量 作 業 種 別			精度管理費 係 数
基準点測量	1 級基準点測量		0.10
	2 級基準点測量		0.09
	3 級基準点測量		0.09
	4 級基準点測量		0.09
	1 級水準測量（レベル等による）		0.09
	2 級水準測量（レベル等による）		0.09
	3 級水準測量（レベル等による）		0.09
	4 級水準測量（レベル等による）		0.09
応用測量	路線測量、一車線林道測量		0.10
	深浅測量		0.09
	用地測量		0.07
	溪間工測量		0.10
	山腹工測量		0.05
地形測量	空中写真測量	撮影(デジタル) 標準作業量 100km ² 標準作業量 1000km ²	0.05 <u>0.045</u>
		対空標識の設置	0.03
		標定点測量	0.02
		簡易水準測量	0.05
		同時調整	0.05
		数値図化（地図情報レベル 1000）	0.07
		数値図化（地図情報レベル 2500）	0.03
	測線測量		0.05
	現地測量		0.05
	航空レーザ測量（地図情報レベル 1000）		0.03
<u>(新設)</u>	<u>(新設)</u>		<u>(新設)</u>
	<u>(新設)</u>		<u>(新設)</u>

(注) 1.・2. (略)
3. 用地測量の作業計画、現地踏査、公図等の転写、地積測量図転写、土地の登記記録調査、権利者確認調査（当初）、権利者確認調査（追跡）、境界確認、土地境界確認書作成及び用地幅杭設置は精度管理費係数の対象としない。
4. ～6. (略)
(新設)
(新設)

- 2 成果検定費
(略)
- 1－3－5 電子成果品作成費
(略)
- 1－4 適用に当たっての留意事項
(略)

第2章 測量業務標準歩掛

第1 打合せ等

- 1－1 打合せ協議
- (1業務当たり)

区分		測量主任技師	測量技師	測量技師補	備考
打合せ	業務着手時	0.5	0.5		(対面)
	中間打合せ	0.5		0.5	1回当たり(対面)
	成果物納入時	0.5	0.5		(対面)
関係機関協議資料作成			0.25	0.25	1機関当たり
関係機関打合せ協議			0.5	0.5	1機関1回当たり(対面)

(注) 1～3 (略)

4. 関係機関打合せ協議の回数は、1機関当たり1回程度とし、関係機関打合せ協議の回数を増減する場合は、1回当たり関係機関打合せ協議1回の人員を増減する。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。

第2 基準点測量

- 2－1 基準点測量

- 2－1－1 1級基準点測量（新点5点）
- 本歩掛の適用範囲は、新点50点以下とする。

標準作業量	新点5点
-------	------

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	11.0%	
通信運搬費等	1.5%	
材料費	2.5%	

(注) (略)

- 2 成果検定費
(略)
- 1－3－5 電子成果品作成費
(略)
- 1－4 適用に当たっての留意事項
(略)

第2章 測量業務標準歩掛

第1 打合せ等

- 1－1 打合せ協議
- (1業務当たり)

区分		測量主任技師	測量技師	測量技師補	備考
打合せ	業務着手時	0.5	0.5		(対面)
	中間打合せ	0.5		0.5	1回当たり(対面)
	成果物納入時	0.5	0.5		(対面)
関係機関協議資料作成			0.25	0.25	1機関当たり
関係機関打合せ協議			0.5	0.5	1機関当たり(対面)

(注) 1～3 (略)

4. 関係機関打合せ協議の回数は、1機関当たり1回程度とする。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。

第2 基準点測量

- 2－1 基準点測量

- 2－1－1 1級基準点測量（新点5点）
- 本歩掛の適用範囲は、新点50点以下とする。
- (新設)

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	8.5%	
通信運搬費等	1.5%	
材料費	2.5%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
GNSS 測量機	2 級	台日	7.5	5 台×1.5 日
トータルステーション	1 級	〃	1.5	1 台×1.5 日
ライトバン	1,500cc	〃	8.0	供用日損料
〃	〃	台時	24.0	運転時間損料
GNSS 解析用計算機		台日	3.5	1 台×3.5 日
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	64.8	2.7ℓ×24.0h
雑品		式	1	

2－1－2 2級基準点測量（新点10点）

本歩掛の適用範囲は、新点 35 点以下とする。

標準作業量	新点 10 点
-------	---------

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合		備 考
	伐採あり	伐採なし	
機械経費	9.0%	9.5%	
通信運搬費等	6.5%	2.0%	
材料費	2.0%	2.5%	

（注） （略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
GNSS 測量機	2 級	台日	12.0	3 台×4 日
トータルステーション	2 級	〃	4.0	1 台×4 日
ライトバン	1,500cc	〃	22.5	供用日損料
〃	〃	台時	67.5	運転時間損料
GNSS 解析用計算機		台日	3.5	1 台×3.5 日
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
伐木補償費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	182.3	2.7ℓ×67.5h
雑品		式	1	

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
GNSS 測量機	2 級	台日	7.5	5 台×1.5 日
トータルステーション	1 級	〃	1.5	1 台×1.5 日
ライトバン	1,500cc	〃	8.0	供用日損料
〃	〃	台時	24.0	運転時間損料
GNSS 解析用計算機		台日	3.5	1 台×3.5 日
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>62.4</u>	<u>2.6</u> ℓ×24.0h
雑品		式	1	

2－1－2 2級基準点測量（新点10点）

本歩掛の適用範囲は、新点 35 点以下とする。

（新設）

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合		備 考
	伐採あり	伐採なし	
機械経費	8.0%	8.5%	
通信運搬費等	7.5%	2.0%	
材料費	2.0%	2.5%	

（注） （略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
GNSS 測量機	2 級	台日	12.0	3 台×4 日
トータルステーション	2 級	〃	4.0	1 台×4 日
ライトバン	1,500cc	〃	22.5	供用日損料
〃	〃	台時	67.5	運転時間損料
GNSS 解析用計算機		台日	3.5	1 台×3.5 日
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
伐木補償費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>175.5</u>	<u>2.6ℓ</u> ×67.5h
雑品		式	1	

2－1－3 3級基準点測量（新点20点）

本歩掛の適用範囲は、新点 80 点以下とする。

標準作業量	新点 20 点
-------	---------

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合				備考
	伐採あり		伐採なし		
	永久標識 設置あり	永久標識 設置なし	永久標識 設置あり	永久標識 設置なし	
機械経費	2.5%	2.5%	3.0%	3.0%	
通信運搬費等	4.0%	4.0%	1.5%	1.5%	
材料費	1.0%	1.0%	1.0%	1.5%	

（注） （略）

（参考）機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	2 級	台日	5.5	1 台×5.5 日
ライトバン	1,500cc	〃	13.0	供用日損料
〃	〃	台時	26.0	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
伐木補償費	伐採ありの場合に計上			
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭	6.0cm×6.0cm×0.6m	本	20	永久標識設置なし時に計上
ガソリン		ℓ	70.2	2.7ℓ×26.0h
雑品		式	1	

2－1－4 4級基準点測量（新点35点、永久標識設置なし）

本歩掛の適用範囲は、新点 170 点以下とする。

標準作業量	新点 35 点 永久標識設置なし
-------	---------------------

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合		備 考
	伐採あり	伐採なし	
機械経費	3.0%	3.0%	
通信運搬費等	7.5%	3.0%	
材料費	2.5%	2.5%	

（注） （略）

2－1－3 3級基準点測量（新点20点）

本歩掛の適用範囲は、新点 80 点以下とする。

（新設）

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合				備考
	伐採あり		伐採なし		
	永久標識 設置あり	永久標識 設置なし	永久標識 設置あり	永久標識 設置なし	
機械経費	2.5%	2.5%	3.0%	3.0%	
通信運搬費等	<u>4.5%</u>	<u>4.5%</u>	<u>2.0%</u>	<u>2.0%</u>	
材料費	1.0%	1.0%	1.0%	<u>1.0%</u>	

（注） （略）

（参考）機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	2 級	台日	5.5	1 台×5.5 日
ライトバン	1,500cc	〃	13.0	供用日損料
〃	〃	台時	26.0	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
伐木補償費	伐採ありの場合に計上			
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭	6.0cm×6.0cm×0.6m	本	20	永久標識設置なし時に計上
ガソリン		ℓ	67.6	2.6ℓ×26.0h
雑品		式	1	

2－1－4 4級基準点測量（新点35点、永久標識設置なし）

本歩掛の適用範囲は、新点 170 点以下とする。

（新設）

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合		備 考
	伐採あり	伐採なし	
機械経費	3.0%	3.0%	
通信運搬費等	8.5%	3.0%	
材料費	2.5%	2.5%	

（注） （略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	2 級	台日	3.0	1 台×3.0 日
ライトバン	1,500cc	〃	6.0	供用日損料
〃	〃	台時	12.0	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
伐木補償費	伐採ありの場合に計上			
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭	6.0cm×6.0cm×0.6m	本	35	
ガソリン		ℓ	32.4	2.7ℓ×12.0h
雑品		式	1	

2－2 基準点設置

2－2－1 基準点設置（新点１０点 地上埋設（普通））

本歩掛は、新点３５点以下とする。

標準作業量

新点 10 点
地上埋設（普通）

直接人件費

作業区分	内外業別	編成（人）					所要日数（日）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
設置	外		1	1		2		1.0	6.0		6.0
合 計								1.0	6.0		6.0

作業区分	内外業別	延人員（人）					
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
設置	外		1.0	6.0		12.0	19.0
合 計			1.0	6.0		12.0	19.0

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.5%	
通信運搬費等	3.0%	
材料費	15.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	2 級	台日	3.0	1 台×3.0 日
ライトバン	1,500cc	〃	6.0	供用日損料
〃	〃	台時	12.0	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
伐木補償費	伐採ありの場合に計上			
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭	6.0cm×6.0cm×0.6m	本	35	
ガソリン		ℓ	31.2	2.6ℓ×12.0h
雑品		式	1	

2－2 基準点設置

2－2－1 基準点設置（新点１０点 地上埋設（普通））

本歩掛は、新点３５点以下とする。

（新設）

直接人件費

作業区分	内外業別	編成（人）					所要日数（日）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
埋設	外		1	1		2		1.0	6.0		6.0
合 計								1.0	6.0		6.0

作業区分	内外業別	延人員（人）					
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
埋設	外		1.0	6.0		12.0	19.0
合 計			1.0	6.0		12.0	19.0

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.5%	
通信運搬費等	3.5%	
材料費	15.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1, 500cc	台日	6. 0	供用日損料
〃	〃	台時	12. 0	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
角材	6. 0cm×6. 0cm×4. 0m	本	10	鳥居用
ガソリン		ℓ	<u>32. 4</u>	<u>2. 7</u> ℓ×12. 0h
セメント		kg	<u>32</u>	
砂		m³	<u>0. 08</u>	
砂利		m³	<u>0. 16</u>	
玉石	300mm～400mm	個	40	4 個×10 点
板材	1. 5cm×15cm×4m	枚	10	型枠用
硬質塩化ビニル管	16. 5cm×0. 51cm×66 cm	本	10	
金属標	φ 80mm×90mm	個	10	
補助地中標	5cm×5cm×5mm	個	10	
鉄筋	φ 6mm	m	54	5. 4m×10 点
鉄線	# 8	kg	4. 8	0. 48kg×10 点
雑品		式	1	

2-2-2 基準点設置（新点10点 コンクリート杭設置）

本歩掛の適用範囲は、新点80点以下とする。

標準作業量	新点10点 コンクリート杭設置
-------	--------------------

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	2.0%	
通信運搬費等	2.0%	
材料費	4.5%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	6.0	供用日損料
〃	〃	台時	12.0	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
角材	6.0cm×6.0cm×4.0m	本	10	鳥居用
ガソリン		ℓ	<u>31.2</u>	<u>2.6ℓ</u> ×12.0h
セメント		kg	<u>130</u>	
砂		m³	<u>0.33</u>	
砂利		m³	<u>0.65</u>	
玉石	300mm～400mm	個	40	4 個×10 点
板材	1.5cm×15cm×4m	枚	10	型枠用
硬質塩化ビニル管	16.5cm×0.51cm×66 cm	本	10	
金属標	φ 80mm×90mm	個	10	
補助地中標	5cm×5cm×5mm	個	10	
鉄筋	φ 6mm	m	54	5.4m×10 点
鉄線	# 8	kg	4.8	0.48kg×10 点
雑品		式	1	

2-2-2 基準点設置（新点10点 コンクリート杭設置）

本歩掛の適用範囲は、新点80点以下とする。

(新設)

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	2.5%	
通信運搬費等	2.5%	
材料費	4.5%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	5.0	供用日損料
〃	〃	台時	10.0	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
コンクリート杭	9.0cm×9.0cm×60.0cm	本	10	
ガソリン		ℓ	<u>27.0</u>	<u>2.7</u> ℓ×10.0h
雑品		式	1	

2－3・2－4 (略)

第3 水準測量

3－1 水準測量
1 級～4 級水準測量の観測作業に適用する。(水準点設置は、3－2－1 及び3－2－2 による。)

3－1－1 1 級水準測量（レベル等による）
本歩掛の適用範囲は、1 級水準測量 700km 以下とする。

標準作業量	100km
-------	-------

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費		
費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	<u>9.5</u> %	
通信運搬費等	<u>0.5</u> %	
材料費	1.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	5.0	供用日損料
〃	〃	台時	10.0	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
コンクリート杭	9.0cm×9.0cm×60.0cm	本	10	
ガソリン		ℓ	<u>26.0</u>	<u>2.6ℓ</u> ×10.0h
雑品		式	1	

2－3・2－4 (略)

第3 水準測量

3－1 水準測量
1 級～4 級水準測量の観測作業に適用する。(水準点設置は、3－2－1 及び3－2－2 による。)

3－1－1 1 級水準測量（レベル等による）
本歩掛の適用範囲は、1 級水準測量 700km 以下とする。

標準作業量	100km
-------	-------

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費		
費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	<u>7.5</u> %	
通信運搬費等	<u>1.0</u> %	
材料費	1.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	1 級	台日	36	
水準用電卓		〃	36	
ライトバン	1, 500cc	〃	40	供用日損料
〃	〃	台時	80	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
鋸	7mm×15mm×80mm	本	156	
ガソリン		ℓ	<u>216.0</u>	<u>2.7ℓ</u> ×80h
雑品		式	1	

3－1－2 2級水準測量（レベル等による）

本歩掛の適用範囲は、2 級水準測量 100km 以下とする。

標準作業量	30km
-------	------

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	6.0%	
通信運搬費等	1.0%	
材料費	1.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	2 級	台日	9	
水準用電卓		〃	9	
ライトバン	1, 500cc	〃	10	供用日損料
〃	〃	台時	20	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
鋸	7mm×15mm×80mm	本	51	
ガソリン		ℓ	54.0	2.7ℓ×20h
雑品		式	1	

3－1－3 3級水準測量（レベル等による）
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	1 級	台日	36	
水準用電卓		〃	36	
ライトバン	1, 500cc	〃	40	供用日損料
〃	〃	台時	80	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
鋸	7mm×15mm×80mm	本	156	
ガソリン		ℓ	<u>208.0</u>	<u>2.6ℓ</u> ×80h
雑品		式	1	

3－1－2 2級水準測量（レベル等による）

本歩掛の適用範囲は、2 級水準測量 100km 以下とする。

標準作業量	30km
-------	------

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	4.5%	
通信運搬費等	1.0%	
材料費	1.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	2 級	台日	9	
水準用電卓		〃	9	
ライトバン	1, 500cc	〃	10	供用日損料
〃	〃	台時	20	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
鋸	7mm×15mm×80mm	本	51	
ガソリン		ℓ	52.0	2.6ℓ×20h
雑品		式	1	

3－1－3 3級水準測量（レベル等による）
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	1	
水準用電卓		〃	1	
ライトバン	1, 500cc	〃	1. 4	供用日損料
〃	〃	台時	2. 8	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
鋸	7mm×15mm×80mm	本	5	
ガソリン		ℓ	7. 6	2. 7ℓ×2. 8h
雑品		式	1	

3－1－4 4級水準測量（レベル等による）
（略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	0. 3	
水準用電卓		〃	0. 3	
ライトバン	1, 500cc	〃	0. 4	供用日損料
〃	〃	台時	0. 8	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
鋸	7mm×15mm×80mm	本	2	
ガソリン		ℓ	2. 2	2. 7ℓ×0. 8h
雑品		式	1	

3－2 水準点設置

3－2－1 水準点設置（永久標識 標準作業量 8 点）
本歩掛の適用範囲は、新点 65 点以下とする。

標準作業量	新点 8 点
-------	--------

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	2. 0%	
通信運搬費等	2. 0%	
材料費	19. 5%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	1	
水準用電卓		〃	1	
ライトバン	1, 500cc	〃	1. 4	供用日損料
〃	〃	台時	2. 8	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
鋸	7mm×15mm×80mm	本	5	
ガソリン		ℓ	<u>7. 2</u>	<u>2. 6ℓ</u> ×2. 8h
雑品		式	1	

3－1－4 4級水準測量（レベル等による）
（略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	0. 3	
水準用電卓		〃	0. 3	
ライトバン	1, 500cc	〃	0. 4	供用日損料
〃	〃	台時	0. 8	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
鋏	7mm×15mm×80mm	本	2	
ガソリン		ℓ	<u>2. 0</u>	<u>2. 6</u> ℓ×0. 8h
雑品		式	1	

3－2 水準点設置

3－2－1 水準点設置（永久標識 標準作業量 8 点）
本歩掛の適用範囲は、新点 65 点以下とする。
(新設)

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	2. 5%	
通信運搬費等	2. 0%	
材料費	19. 5%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	4.5	供用日損料
〃	〃	台時	9.0	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
金属標	φ 80mm×90mm	個	8	
セメント		t	0.4	
砂利		m³	2.0	
砂		〃	1.0	
割栗石		〃	1.2	
硬質塩化ビニル管	16.5cm×0.51cm×66cm	本	8	
鉄筋	φ 6mm	m	27.8	
板材	1.2cm×18cm×4m	枚	23	型枠用
玉石	300mm～400mm	個	30	
鉄線	#8	kg	3	
ガソリン		ℓ	24.3	2.7ℓ×9.0h
雑品		式	1	

3－2－2 水準点設置（永久標識以外 標準作業量 6 点）

本歩掛の適用範囲は、新点 20 点以下とする。

標準作業量	新点 6 点
-------	--------

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.5%	
通信運搬費等	5.0%	
材料費	3.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	4.5	供用日損料
〃	〃	台時	9.0	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
金属標	φ 80mm×90mm	個	8	
セメント		t	0.4	
砂利		m³	2.0	
砂		〃	1.0	
割栗石		〃	1.2	
硬質塩化ビニル管	16.5cm×0.51cm×66cm	本	8	
鉄筋	φ 6mm	m	27.8	
板材	1.2cm×18cm×4m	枚	23	型枠用
玉石	300mm～400mm	個	30	
鉄線	#8	kg	3	
ガソリン		ℓ	23.4	2.6ℓ×9.0h
雑品		式	1	

3－2－2 水準点設置（永久標識以外 標準作業量 6 点）

本歩掛の適用範囲は、新点 20 点以下とする。

(新設)

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.5%	
通信運搬費等	5.5%	
材料費	3.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1, 500cc	台日	1. 2	供用日損料
〃	〃	台時	2. 4	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
鋸	7mm×15mm×80mm	本	6	
ガソリン		ℓ	<u>6. 5</u>	<u>2. 7</u> ℓ×2. 4h
雑品		式	1	

3－3・3－4 (略)

第4 路線測量

4－1 作業計画
(略)
機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	－	
通信運搬費等	－	
材料費	－	

(注) 1. 作業計画は、精度管理費の対象としない。
2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
3. 本歩掛については、路線測量の作業計画に係る費用以外は含まない。

4－2 現地踏査

直接人件費
(略)
機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	2.0%	
通信運搬費等	－	
材料費	7.5%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	1.2	供用日損料
〃	〃	台時	2.4	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
鋸	7mm×15mm×80mm	本	6	
ガソリン		ℓ	<u>6.2</u>	<u>2.6ℓ</u> ×2.4h
雑品		式	1	

3－3・3－4 (略)

第4 路線測量

4－1 作業計画
(略)
機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	－	
通信運搬費等	－	
材料費	－	

(注) 1. 作業計画は、精度管理費の対象としない。
2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

4－2 現地踏査

直接人件費
(略)
機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.0%	
通信運搬費等	－	
材料費	6.5%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	<u>1.6</u>	供用日損料
〃	〃	台時	<u>3.2</u>	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭	6cm×6cm×60cm	本	13	
ガソリン		ℓ	<u>8.6</u>	<u>2.7</u> ℓ× <u>3.2</u> h
雑品		式	1	

4－3 線形決定

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	<u>1.0</u> %	
通信運搬費等	—	
材料費	2.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
座標展開機		台日	<u>0.6</u>	
電子計算機	パーソナルコンピュータ	〃	<u>0.7</u>	
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ポリエステルフィルム	#300 0.9×20cm	本	0.16	
雑品		式	1	

4－4 IP設置測量（クロソイド曲線1箇所、基準点を設置する場合）

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	<u>3.5</u> %	
通信運搬費等	—	
材料費	<u>3.5</u> %	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	<u>0.8</u>	供用日損料
〃	〃	台時	<u>1.6</u>	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭	6cm×6cm×60cm	本	13	
ガソリン		ℓ	<u>4.2</u>	<u>2.6</u> ℓ× <u>1.6</u> h
雑品		式	1	

4－3 線形決定

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	<u>0.5</u> %	
通信運搬費等	—	
材料費	2.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
座標展開機		台日	<u>0.4</u>	
電子計算機	パーソナルコンピュータ	〃	<u>0.3</u>	
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ポリエステルフィルム	#300 0.9×20cm	本	0.16	
雑品		式	1	

4－4 IP設置測量（クロソイド曲線1箇所、基準点を設置する場合）

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	<u>1.5</u> %	
通信運搬費等	—	
材料費	<u>3.0</u> %	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	3 級	台日	<u>1.4</u>	
ライトバン	1,500cc	〃	<u>1.4</u>	供用日損料
〃	〃	台時	<u>2.8</u>	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭	9cn×9cm×90cm	本	7	
木杭	6cm×6cm×60cm	〃	6	
ガソリン		ℓ	<u>7.6</u>	<u>2.7</u> ℓ×2.8h
雑品		式	1	

4－5 中心線測量（クロソイド曲線 1 箇所、測点間隔 20m）

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	<u>4.0</u> %	
通信運搬費等	—	
材料費	<u>6.0</u> %	

（注） （略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	3 級	台日	<u>2.5</u>	
座標展開機		〃	<u>0.6</u>	
ライトバン	1, 500cc	〃	<u>2.8</u>	供用日損料
〃	〃	台時	<u>5.6</u>	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭	9cn×9cm×75cm	本	10	
木杭	6cm×6cm×60cm	〃	65	
ポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	〃	0.17	
ガソリン		ℓ	<u>15.1</u>	<u>2.7</u> ℓ×5.6h
雑品		式	1	

4－6 （略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	3 級	台日	<u>0.8</u>	
ライトバン	1,500cc	〃	<u>0.8</u>	供用日損料
〃	〃	台時	<u>1.6</u>	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭	9cm×9cm×90cm	本	7	
木杭	6cm×6cm×60cm	〃	6	
ガソリン		ℓ	<u>4.1</u>	<u>2.6</u> ℓ×2.8h
雑品		式	1	

4－5 中心線測量（クロソイド曲線 1 箇所、測点間隔 20m）

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	<u>2.5</u> %	
通信運搬費等	—	
材料費	<u>5.5</u> %	

（注） （略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	3 級	台日	<u>2.2</u>	
座標展開機		〃	<u>0.2</u>	
ライトバン	1,500cc	〃	<u>2.4</u>	供用日損料
〃	〃	台時	<u>4.8</u>	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭	9cm×9cm×75cm	本	10	
木杭	6cm×6cm×60cm	〃	65	
ポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	〃	0.17	
ガソリン		ℓ	<u>12.5</u>	<u>2.6ℓ</u> ×5.6h
雑品		式	1	

4－6 （略）

4－7 縦断測量

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	2.5%	
通信運搬費等	—	
材料費	3.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	<u>1.6</u>	
ライトバン	1,500cc	〃	<u>1.8</u>	供用日損料
〃	〃	台時	<u>3.6</u>	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	本	0.18	
ガソリン		ℓ	<u>9.7</u>	<u>2.7</u> ℓ× <u>3.6</u> h
雑品		式	1	

4－8 横断測量（クロソイド曲線 1 箇所、測点間隔 20m）

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	2.5%	
通信運搬費等	—	
材料費	3.0%	

(注) (略)

4－7 縦断測量

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	2.0%	
通信運搬費等	—	
材料費	3.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	<u>1.4</u>	
ライトバン	1,500cc	〃	<u>1.5</u>	供用日損料
〃	〃	台時	<u>3.0</u>	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	本	0.18	
ガソリン		ℓ	<u>7.8</u>	<u>2.6ℓ</u> × <u>3.0h</u>
雑品		式	1	

4－8 横断測量（クロソイド曲線 1 箇所、測点間隔 20m）

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	2.0%	
通信運搬費等	—	
材料費	3.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	<u>6.4</u>	
ライトバン	1,500cc	〃	<u>7.2</u>	供用日損料
〃	〃	台時	<u>14.4</u>	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭	4.5×4.5×45cm	本	112	
ポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	〃	0.56	
ガソリン		ℓ	<u>38.9</u>	<u>2.7</u> ℓ× <u>14.4</u> h
雑品		式	1	

4－9 (略)

4－10 一車線林道

4－10－1 (略)

4－10－2 一車線林道 中心線測量

直接人件費 (1 km 当たり)

作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
中心線測量	外		1	1	1	2		<u>1.5</u>	<u>2.5</u>	<u>3.0</u>	<u>2.5</u>
	内		1	1				<u>0.4</u>	<u>0.4</u>		
合計								<u>1.9</u>	<u>2.9</u>	<u>3.0</u>	<u>2.5</u>

作業区分	内外業別	延人員 (人)					
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
中心線測量	外		<u>1.5</u>	<u>2.5</u>	<u>3.0</u>	<u>5.0</u>	<u>12.0</u>
	内		<u>0.4</u>	<u>0.4</u>			<u>0.8</u>
合計			<u>1.9</u>	<u>2.9</u>	<u>3.0</u>	<u>5.0</u>	<u>12.8</u>

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	<u>3.5</u> %	
通信運搬費等	－	
材料費	<u>3.0</u> %	

(注) 1. ～ 3. (略)

4. 測量延長が 100m未満の場合は、測量延長 100mとして、歩掛を計上する。

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	<u>5.6</u>	
ライトバン	1,500cc	〃	<u>6.3</u>	供用日損料
〃	〃	台時	<u>12.6</u>	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭	4.5×4.5×45cm	本	112	
ポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	〃	0.56	
ガソリン		ℓ	<u>32.8</u>	<u>2.6</u> ℓ× <u>12.6</u> h
雑品		式	1	

4－9

4－10 一車線林道

4－10－1 (略)

4－10－2 一車線林道 中心線測量

直接人件費 (1 km 当たり)

作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
中心線測量	外		1	1	1	2		<u>1.0</u>	<u>1.5</u>	<u>2.5</u>	<u>2.0</u>
	内		1	1				<u>0.2</u>	<u>0.2</u>		
合計								<u>1.2</u>	<u>1.7</u>	<u>2.5</u>	<u>2.0</u>

作業区分	内外業別	延人員 (人)					
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
中心線測量	外		<u>1.0</u>	<u>1.5</u>	<u>2.5</u>	<u>4.0</u>	<u>9.0</u>
	内		<u>0.2</u>	<u>0.2</u>			<u>0.4</u>
合計			<u>1.2</u>	<u>1.7</u>	<u>2.5</u>	<u>4.0</u>	<u>9.4</u>

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	<u>1.5</u> %	
通信運搬費等	－	
材料費	<u>5.0</u> %	

(注) 1. ～ 3. (略)

4－10－3 一車線林道 縦断測量

直接人件費 (1 km 当たり)											
作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
縦断測量	外			1	<u>1</u>	2			<u>2.0</u>	<u>2.0</u>	<u>1.5</u>
	内		1	1	1			<u>0.4</u>	<u>0.4</u>	<u>0.4</u>	
合計								<u>0.4</u>	<u>2.4</u>	<u>2.4</u>	<u>1.5</u>

作業区分	内外業別	延人員 (人)					
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
縦断測量	外			<u>2.0</u>	<u>2.0</u>	<u>3.0</u>	<u>7.0</u>
	内		<u>0.4</u>	<u>0.4</u>	<u>0.4</u>		<u>1.2</u>
合計			<u>0.4</u>	<u>2.4</u>	<u>2.4</u>	<u>3.0</u>	<u>8.2</u>

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	<u>3.0</u> %	
通信運搬費等	—	
材料費	<u>0.5</u> %	

(注) 1. ～ 3. (略)
4. 測量延長が 100m未満の場合は、測量延長 100mとして、歩掛を計上する。

4－10－4 一車線林道 横断測量

直接人件費 (1 km 当たり)											
作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
横断測量	外			1	1	<u>1</u>			<u>4.0</u>	<u>4.0</u>	<u>2.5</u>
	内		1	1	1			0.5	1.0	1.0	
合計								0.5	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>2.5</u>

作業区分	内外業別	延人員 (人)					
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
横断測量	外			<u>4.0</u>	<u>4.0</u>	<u>2.5</u>	<u>10.5</u>
	内		0.5	1.0	1.0		2.5
合計			0.5	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>2.5</u>	<u>13.0</u>

4－10－3 一車線林道 縦断測量

直接人件費 (1 km 当たり)											
作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
縦断測量	外			1	<u>2</u>	2			<u>1.40</u>	<u>1.40</u>	<u>1.40</u>
	内		1	1	1			<u>0.32</u>	<u>0.32</u>	<u>0.64</u>	
合計								<u>0.32</u>	<u>1.72</u>	<u>2.04</u>	<u>1.40</u>

作業区分	内外業別	延人員 (人)					
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
縦断測量	外			<u>1.40</u>	<u>2.80</u>	<u>2.80</u>	<u>7.00</u>
	内		<u>0.32</u>	<u>0.32</u>	<u>0.64</u>		<u>1.28</u>
合計			<u>0.32</u>	<u>1.72</u>	<u>3.44</u>	<u>2.80</u>	<u>8.28</u>

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	<u>1.5</u> %	
通信運搬費等	—	
材料費	<u>5.0</u> %	

(注) 1. ～ 3. (略)

4－10－4 一車線林道 横断測量

直接人件費 (1 km 当たり)											
作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
横断測量	外			1	1	3			2.0	2.0	2.0
	内		1	1	1			0.5	1.0	1.0	
合計								0.5	3.0	3.0	2.0

作業区分	内外業別	延人員 (人)					
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
横断測量	外			2.0	2.0	6.0	10.0
	内		0.5	1.0	1.0		2.5
合計			0.5	3.0	3.0	6.0	12.5

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.5%	
通信運搬費等	－	
材料費	0.5%	

(注) 1. ～ 4. (略)
5. 測量延長が 100m未満の場合は、測量延長 100mとして、歩掛を計上する。

4－10－5 一車線林道 土質区分・その他調査

直接人件費		(1 km 当たり)									
作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
土質区分調査	外		1			1		1.0			1.0
構造物調査等	外			1	1	1		0.5	0.5	0.5	0.5
合計								1.0	0.5	0.5	1.5

作業区分	内外業別	延人員 (人)					
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
土質区分調査	外		1.0			1.0	2.0
構造物調査等	外			0.5	0.5	0.5	1.5
合計			1.0	0.5	0.5	1.5	3.5

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	2.0%	
通信運搬費等	－	
材料費	1.0%	

(注) 1. ～ 4. (略)
5. 測量延長が 100m未満の場合は、測量延長 100mとして、歩掛を計上する。

4－10－6 ・ 4－10－7 (略)

4－11 (略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.5%	
通信運搬費等	－	
材料費	5.0%	

(注) 1. ～ 4. (略)

4－10－5 一車線林道 土質区分・その他調査

直接人件費		(1 km 当たり)									
作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
土質区分調査	外		1			1		1.00			1.00
構造物調査等	外			1	1	1			0.30	0.30	0.60
合計								1.00	0.30	0.30	1.60

作業区分	内外業別	延人員 (人)					
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
土質区分調査	外		1.00			1.00	2.00
構造物調査等	外			0.30	0.30	0.60	1.20
合計			1.00	0.30	0.30	1.60	3.20

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.5%	
通信運搬費等	－	
材料費	5.0%	

(注) 1. ～ 4. (略)

4－10－6 ・ 4－10－7 (略)

4－11 (略)

第5 用地測量

5－1 用地測量

5－1－1 作業計画

1 作業計画
(略)

2 現地踏査
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.0%	
通信運搬費等	－	
材料費	4.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1, 500cc	台日	1. 0	供用日損料
〃	〃	台時	2. 0	供用時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	5. 4	2. 7ℓ×2. 0h
雑品		式	1	

5－1－2 資料調査

1 現地踏査
公図等の転写（地積測量図以外の公図の転写）
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.0%	
通信運搬費等	－	
材料費	2.0%	

(注) (略)

第5 用地測量

5－1 用地測量

5－1－1 作業計画

1 作業計画
(略)

2 現地踏査
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.5%	
通信運搬費等	－	
材料費	4.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	1.0	供用日損料
〃	〃	台時	2.0	供用時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	5.2	2.6ℓ×2.0h
雑品		式	1	

5－1－2 資料調査

1 現地踏査
公図等の転写（地積測量図以外の公図の転写）
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.0%	
通信運搬費等	－	
材料費	1.5%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.3	供用日損料
〃	〃	台時	0.6	供用時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	1.6	<u>2.7</u> ℓ×0.6h
ポリエステルシート	0.9m×20m	本	0.04	#300

2 地積測量図転写（地積測量図のみの転写）

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費
（略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.4	供用日損料
〃	〃	台時	0.8	供用時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	2.2	2.7ℓ×0.8h

3 土地の登記記録調査

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費
（略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.3	供用日損料
〃	〃	台時	0.6	供用時間損料
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	1.6	2.7ℓ×0.6h

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.3	供用日損料
〃	〃	台時	0.6	供用時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	1.6	2.6ℓ×0.6h
ポリエステルシート	0.9m×20m	本	0.04	#300

2 地積測量図転写（地積測量図のみの転写）

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費
（略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.4	供用日損料
〃	〃	台時	0.8	供用時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	2.1	2.6ℓ×0.8h

3 土地の登記記録調査

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費
（略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.3	供用日損料
〃	〃	台時	0.6	供用時間損料
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	1.6	2.6ℓ×0.6h

4 権利者確認調査（当初）

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費
（略）

（参考）機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.2	供用日損料
〃	〃	台時	0.4	供用時間損料
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>1.1</u>	<u>2.7</u> ℓ×0.4h

5 権利者確認調査（追跡）

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費
（略）

（参考）機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.5	供用日損料
〃	〃	台時	1.0	供用時間損料
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	2.7	2.7ℓ×1.0h

6 公図等転写連続図作成

直接人件費

（10,000m²あたり）

作業区分	内外業別	編成（人）					所要日数（日）				
		<u>測量主任技師</u>	<u>測量技師</u>	<u>測量技師補</u>	<u>測量助手</u>	<u>測量補助員</u>	<u>測量主任技師</u>	<u>測量技師</u>	<u>測量技師補</u>	<u>測量助手</u>	<u>測量補助員</u>
<u>公図等転写連続図作成</u>	<u>内</u>			<u>1</u>	<u>1</u>				<u>0.5</u>	<u>0.5</u>	

4 権利者確認調査（当初）

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費
（略）

（参考）機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.2	供用日損料
〃	〃	台時	0.4	供用時間損料
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>1.0</u>	<u>2.6ℓ</u> ×0.4h

5 権利者確認調査（追跡）

直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費
（略）

（参考）機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.5	供用日損料
〃	〃	台時	1.0	供用時間損料
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	2.7	2.6ℓ×1.0h

（新設）

作業区分	内外業別	延人員（人）					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
公図等転写連続図作成	内			0.5	0.5		1.0

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	—	
通信運搬費等	—	
材料費	1.0%	

(注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
2. 公図等転写連続図作成は、精度管理費の対象としない。
3. 機械経費及び通信運搬費等は、精度管理費の対象としない。

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ポリエステルシート	0.9m×20m	本	0.02	#300

5－1－3 境界確認

1 復元測量

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	3.5%	
通信運搬費等	—	
材料費	3.0%	

(注) (略)

5－1－3 境界確認

1 復元測量

直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	2.5%	
通信運搬費等	—	
材料費	3.5%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	3 級	台日	1.7	
ライトバン	1,500cc	台日	1.7	供用日損料
〃	〃	台時	3.4	供用時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	9.2	2.7ℓ×3.4h
木杭又は プラスチック杭	4.5cm×4.5cm ×45cm	本	34	
雑品		式	1	

2 境界確認
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	1.0	供用日損料
〃	〃	台時	2.0	供用時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	5.4	2.7ℓ×2.0h
木杭又は プラスチック杭	4.5cm×4.5cm ×45cm	本	73	
雑品		式	1	

3 土地境界確認書作成
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.5%	
通信運搬費等	—	
材料費	1.0%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	3 級	台日	1.7	
ライトバン	1,500cc	台日	1.7	供用日損料
〃	〃	台時	3.4	供用時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	8.8	2.6ℓ×3.4h
木杭又は プラスチック杭	4.5cm×4.5cm ×45cm	本	34	
雑品		式	1	

2 境界確認
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	1.0	供用日損料
〃	〃	台時	2.0	供用時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>5.2</u>	<u>2.6</u> ℓ×2.0h
木杭又は プラスチック杭	4.5cm×4.5cm ×45cm	本	73	
雑品		式	1	

3 土地境界確認書作成
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	1.5%	
通信運搬費等	—	
材料費	0.5%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.8	供用日損料
〃	〃	台時	1.6	供用時間損料
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	4.3	2.7ℓ×1.6h

5－1－4 用地幅杭設置測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費		
費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	3.5%	
通信運搬費等	—	
材料費	6.5%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	3.4	供用日損料
〃	〃	台時	6.8	供用時間損料
トータルステーション	3級	台日	3.4	
電子計算機	パーソナルコンピュータ	〃	1.1	
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>18.4</u>	<u>2.7</u> ℓ×6.8h
木杭	6cm×6cm×60cm	本	137	
雑品		式	1	

5－1－5・5－1－6 (略)

5－2～5－4 (略)

第6 現地測量
6－1 現地測量 (S=1/500)
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.8	供用日損料
〃	〃	台時	1.6	供用時間損料
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	4.2	2.6ℓ×1.6h

5－1－4 用地幅杭設置測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費		
費 目	直接人件費に対する割合	備 考
機械経費	3.0%	
通信運搬費等	—	
材料費	6.5%	

(注) (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	3.4	供用日損料
〃	〃	台時	6.8	供用時間損料
トータルステーション	3級	台日	3.4	
電子計算機	パーソナルコンピュータ	〃	1.1	
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>17.6</u>	<u>2.6ℓ</u> ×6.8h
木杭	6cm×6cm×60cm	本	137	
雑品		式	1	

5－1－5・5－1－6 (略)

5－2～5－4 (略)

第6 現地測量
6－1 現地測量 (S=1/500)
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	2 級	台日	9.8	
ライトバン	1,500cc	〃	9.8	供用日損料
〃	〃	台時	19.7	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭		本	28	
ガソリン		ℓ	53.2	2.7ℓ×19.7h
雑品		式	1	

6－2 （略）

第7 治山事業測量

7－1 （略）

7－2 溪間工測量

7－2－1・7－2－2 （略）

7－2－3 溪間工測量歩掛

1 踏査選点
直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費
（略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.5	供用日損料
〃	〃	台時	1.0	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	2.7	2.7ℓ×1.0h
雑品等		式	1	

2 中心線測量
直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費
（略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	2 級	台日	9.8	
ライトバン	1,500cc	〃	9.8	供用日損料
〃	〃	台時	19.7	運転時間損料
雑器材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
木杭		本	28	
ガソリン		ℓ	51.2	2.6ℓ×19.7h
雑品		式	1	

6－2 （略）

第7 治山事業測量

7－1 （略）

7－2 溪間工測量

7－2－1・7－2－2 （略）

7－2－3 溪間工測量歩掛

1 踏査選点
直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費
（略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	台日	0.5	供用日損料
〃	〃	台時	1.0	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	2.6	2.6ℓ×1.0h
雑品等		式	1	

2 中心線測量
直接人件費
（略）

機械経費、通信運搬費等、材料費
（略）

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	3 級	台日	1.4	
座標展開機		〃	0.2	
ライトバン	1,500cc	〃	1.4	供用日損料
〃	〃	台時	2.8	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	7.6	2.7ℓ×2.8h
木杭、雑品等		式	1	

3 縦断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	1.3	
ライトバン	1,500cc	〃	1.3	供用日損料
〃	〃	台時	2.6	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>7.0</u>	<u>2.7</u> ℓ×2.6h
雑品等		式	1	

4 横断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	3 級	台日	1.4	
座標展開機		〃	0.2	
ライトバン	1,500cc	〃	1.4	供用日損料
〃	〃	台時	2.8	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>7.3</u>	<u>2.6ℓ</u> ×2.8h
木杭、雑品等		式	1	

3 縦断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	1.3	
ライトバン	1,500cc	〃	1.3	供用日損料
〃	〃	台時	2.6	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>6.8</u>	<u>2.6ℓ</u> ×2.6h
雑品等		式	1	

4 横断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	2.9	
ライトバン	1,500cc	〃	2.9	供用日損料
〃	〃	台時	5.8	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	15.7	2.7ℓ×5.8h
木杭、雑品等		式	1	

5 構造物計画位置横断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	0.25	
ライトバン	1,500cc	〃	0.25	供用日損料
〃	〃	台時	0.5	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>1.4</u>	<u>2.7</u> ℓ×0.5h
木杭、雑品等		式	1	

6 (略)

7－2－4 簡易溪間工測量歩掛 (参考歩掛)

1 (略)

2 簡易中心線測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	2.9	
ライトバン	1,500cc	〃	2.9	供用日損料
〃	〃	台時	5.8	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>15.1</u>	<u>2.6ℓ</u> ×5.8h
木杭、雑品等		式	1	

5 構造物計画位置横断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	0.25	
ライトバン	1,500cc	〃	0.25	供用日損料
〃	〃	台時	0.5	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>1.3</u>	<u>2.6ℓ</u> ×0.5h
木杭、雑品等		式	1	

6 (略)

7－2－4 簡易溪間工測量歩掛 (参考歩掛)

1 (略)

2 簡易中心線測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ポケットコンパス		台日	1.19	
ライトバン	1,500cc	〃	1.19	供用日損料
〃	〃	台時	2.38	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	6.4	2.7ℓ×2.38h
木杭、雑品等		式	1	

3 簡易縦断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ポケットコンパス		台日	0.51	
ライトバン	1,500cc	〃	0.51	供用日損料
〃	〃	台時	1.02	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	2.8	2.7ℓ×1.02h
雑品等		式	1	

4 簡易横断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ポケットコンパス		台日	1.19	
ライトバン	1,500cc	〃	1.19	供用日損料
〃	〃	台時	2.38	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>6.2</u>	<u>2.6ℓ</u> ×2.38h
木杭、雑品等		式	1	

3 簡易縦断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ポケットコンパス		台日	0.51	
ライトバン	1,500cc	〃	0.51	供用日損料
〃	〃	台時	1.02	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>2.7</u>	<u>2.6ℓ</u> ×1.02h
雑品等		式	1	

4 簡易横断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ポケットコンパス		台日	1.14	
ライトバン	1,500cc	〃	1.14	供用日損料
〃	〃	台時	2.28	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	6.2	2.7ℓ×2.28h
木杭、雑品等		式	1	

7-2-5 (略)

7-3 山腹工測量

7-3-1・7-3-2 (略)

7-3-3 山腹工測量歩掛

1 踏査選点
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	〃	1.0	供用日損料
〃	〃	台時	2.0	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>5.4</u>	<u>2.7</u> ℓ×2.0h
雑品等		式	1	

2 山腹平面測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ポケットコンパス		台日	1.14	
ライトバン	1,500cc	〃	1.14	供用日損料
〃	〃	台時	2.28	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>5.9</u>	<u>2.6ℓ</u> ×2.28h
木杭、雑品等		式	1	

7-2-5 (略)

7-3 山腹工測量

7-3-1・7-3-2 (略)

7-3-3 山腹工測量歩掛

1 踏査選点
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ライトバン	1,500cc	〃	1.0	供用日損料
〃	〃	台時	2.0	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	5.2	2.6ℓ×2.0h
雑品等		式	1	

2 山腹平面測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	3 級	台日	2.5	
座標展開機		〃	0.2	
ライトバン	1,500cc	〃	2.5	供用日損料
〃	〃	台時	5.0	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	13.5	2.7ℓ×5.0h
木杭、雑品等		式	1	

3 山腹縦断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	0.5	
ライトバン	1,500cc	〃	0.5	供用日損料
〃	〃	台時	1.0	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>2.7</u>	<u>2.7</u> ℓ×1.0h
木杭、雑品等		式	1	

4 山腹横断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	3 級	台日	2.5	
座標展開機		〃	0.2	
ライトバン	1,500cc	〃	2.5	供用日損料
〃	〃	台時	5.0	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	13.0	2.6ℓ×5.0h
木杭、雑品等		式	1	

3 山腹縦断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	0.5	
ライトバン	1,500cc	〃	0.5	供用日損料
〃	〃	台時	1.0	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	2.6	2.6ℓ×1.0h
木杭、雑品等		式	1	

4 山腹横断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	0.2	
ライトバン	1,500cc	〃	0.2	供用日損料
〃	〃	台時	0.4	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	1.1	2.7ℓ×0.4h
木杭、雑品等		式	1	

5 (略)

7－3－4 簡易山腹工測量歩掛 (参考歩掛)

1 (略)

2 簡易山腹平面測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ポケットコンパス		台日	2.0	
ライトバン	1,500cc	〃	2.0	供用日損料
〃	〃	台時	4.0	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	10.8	2.7ℓ×4.0h
木杭、雑品等		式	1	

3 簡易山腹縦断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レベル	3 級	台日	0.2	
ライトバン	1,500cc	〃	0.2	供用日損料
〃	〃	台時	0.4	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	1.0	2.6ℓ×0.4h
木杭、雑品等		式	1	

5 (略)

7－3－4 簡易山腹工測量歩掛 (参考歩掛)

1 (略)

2 簡易山腹平面測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ポケットコンパス		台日	2.0	
ライトバン	1,500cc	〃	2.0	供用日損料
〃	〃	台時	4.0	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	10.4	2.6ℓ×4.0h
木杭、雑品等		式	1	

3 簡易山腹縦断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ポケットコンパス		台日	0.20	
ライトバン	1,500cc	〃	0.20	供用日損料
〃	〃	台時	0.40	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>1.1</u>	<u>2.7ℓ</u> ×0.4h
木杭、雑品等		式	1	

4 簡易山腹横断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ポケットコンパス		台日	0.1	
ライトバン	1,500cc	〃	0.1	供用日損料
〃	〃	台時	0.2	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	0.5	2.7ℓ×0.2h
木杭、雑品等		式	1	

7-3-5 (略)

7-4~7-8 (略)

7-9 地すべり防止工の測量
7-9-1 (略)

7-9-2 測線測量歩掛
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ポケットコンパス		台日	0.20	
ライトバン	1,500cc	〃	0.20	供用日損料
〃	〃	台時	0.40	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>1.0</u>	<u>2.6ℓ</u> ×0.4h
木杭、雑品等		式	1	

4 簡易山腹横断測量
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ポケットコンパス		台日	0.1	
ライトバン	1,500cc	〃	0.1	供用日損料
〃	〃	台時	0.2	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	0.5	<u>2.6ℓ</u> ×0.2h
木杭、雑品等		式	1	

7-3-5 (略)

7-4~7-8 (略)

7-9 地すべり防止工の測量
7-9-1 (略)

7-9-2 測線測量歩掛
直接人件費
(略)

機械経費、通信運搬費等、材料費
(略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	3 級	台日	2.0	
レベル	3 級	〃	2.0	
ライトバン	1, 500cc	〃	2.0	供用日損料
〃	〃	台時	4.0	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	<u>10.8</u>	<u>2.7ℓ</u> ×4. 0h
木杭		本	200	
雑品		式	1	人件費の 1%

7－9－3 測線測量の補正
(略)

表 7－9－1 測線長による補正

測線長	2km 未満	2～3km 未満	3～4km 未満	4～5km 未満	5～7km 未満	7～10km 未満	10km 以上
補正率	1.00	0.95	0.90	0.85	0.80	0.75	0.70

(注) 複数の側線がある場合の側線長は、その合計とする。

表 7－9－2 (略)

7—10 (略)

(参考) 機械経費、通信運搬費等、材料費の構成

機械経費の構成				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トータルステーション	3 級	台日	2.0	
レベル	3 級	〃	2.0	
ライトバン	1,500cc	〃	2.0	供用日損料
〃	〃	台時	4.0	運転時間損料
雑機材		式	1	
通信運搬費等の構成				
項 目				
通信運搬費				
材料費の構成				
品 名	規 格	単位	数量	摘 要
ガソリン		ℓ	10.4	2.6ℓ×4.0h
木杭		本	200	
雑品		式	1	人件費の 1%

7－9－3 測線測量の補正
(略)

表 7－9－1 測線長による補正

測線長	2km 未満	2～3km 未満	3～4km 未満	4～5km 未満	5～7km 未満	7～10km 未満	10km 以上
補正率	1.00	0.95	0.90	0.85	0.80	0.75	0.70

(新設)

表 7－9－2 (略)

7—10 (略)

第 8 空中写真測量

8－1～8－5 （略）

8－6 機械経費、通信運搬費等、材料費
各費目の直接人件費に対する割合とする。

作業	作業名	機械経費率	通信運搬費等率	材料費率
8-2-1-1	撮影 撮影（デジタル） 撮影計画	0.0%	0.0%	0.5%
8-2-1-2	撮影 撮影（デジタル） 総運航			
8-2-1-3	撮影 撮影（デジタル） 撮影			
8-2-1-4	撮影 撮影（デジタル） 滞留	0.0%	1.5%	0.0%
8-2-1-5	撮影 撮影（デジタル） GNSS/IMU 計算	0.5%	0.0%	0.0%
8-2-1-6	撮影 撮影（デジタル） 数値写真作成	65.0%	0.0%	10.5%
8-3-1	標定点及び同時調整 対空標識の設置（写真縮尺 1／10，000～12，500）	1.0%	0.5%	2.5%
8-3-2	標定点測量及び同時調整 標定点測量	7.0%	0.0%	0.5%
8-3-3	標定点測量及び同時調整 簡易水準測量	5.5%	0.5%	1.5%
8-3-5	標定点測量及び同時調整 同時調整	33.5%	0.0%	0.0%
8-4-1-1	数値図化 数値図化 レベル1，000 作業計画	0.5%	0.0%	0.0%
8-4-1-2	数値図化 数値図化 レベル1，000 現地調査	3.0%	0.5%	2.0%
8-4-1-3	数値図化 数値図化 レベル1，000 数値図化	36.0%	0.0%	0.5%
8-4-1-4	数値図化 数値図化 レベル1，000 数値編集	11.5%	0.0%	0.5%
8-4-1-5	数値図化 数値図化 レベル1，000 補測編集	7.5%	0.5%	3.0%
8-4-1-6	数値図化 数値図化 レベル1，000 数値地形図データファイルの作成	14.5%	0.0%	0.0%
8-4-2-1	数値図化 数値図化 レベル2，500 作業計画	0.0%	0.0%	0.0%
8-4-2-2	数値図化 数値図化 レベル2，500 現地調査	2.0%	0.5%	2.0%
8-4-2-3	数値図化 数値図化 レベル2，500 数値図化	50.0%	0.0%	0.5%
8-4-2-4	数値図化 数値図化 レベル2，500 数値編集	12.5%	0.0%	0.0%
8-4-2-5	数値図化 数値図化 レベル2，500 補測編集	7.5%	0.5%	1.5%
8-4-2-6	数値図化 数値図化 レベル2，500 数値地形図データファイルの作成	21.5%	0.0%	0.0%

第 9 航空レーザ測量

9－1 （略）

9－2 航空レーザ測量の積算方式

9－2－1～9－2－3 （略）

9－2－4 航空レーザ計測（計測作業）
1 （略）

第 8 空中写真測量

8－1～8－5 （略）

8－6 機械経費、通信運搬費等、材料費
各費目の直接人件費に対する割合とする。

作業	作業名	機械経費率	通信運搬費等率	材料費率
8-2-1-1	撮影 撮影（デジタル） 撮影計画	0.0%	0.0%	0.5%
8-2-1-2	撮影 撮影（デジタル） 総運航			
8-2-1-3	撮影 撮影（デジタル） 撮影			
8-2-1-4	撮影 撮影（デジタル） 滞留	0.0%	1.5%	0.0%
8-2-1-5	撮影 撮影（デジタル） GNSS/IMU 計算	0.5%	0.0%	0.0%
8-2-1-6	撮影 撮影（デジタル） 数値写真作成	72.0%	0.0%	11.5%
8-3-1	標定点及び同時調整 対空標識の設置（写真縮尺 1／10，000～12，500）	1.0%	0.5%	2.0%
8-3-2	標定点測量及び同時調整 標定点測量	6.0%	0.0%	0.5%
8-3-3	標定点測量及び同時調整 簡易水準測量	5.0%	0.5%	1.5%
8-3-5	標定点測量及び同時調整 同時調整	31.0%	0.0%	0.0%
8-4-1-1	数値図化 数値図化 レベル1，000 作業計画	0.5%	0.0%	0.0%
8-4-1-2	数値図化 数値図化 レベル1，000 現地調査	3.0%	1.0%	2.0%
8-4-1-3	数値図化 数値図化 レベル1，000 数値図化	34.0%	0.0%	0.5%
8-4-1-4	数値図化 数値図化 レベル1，000 数値編集	11.5%	0.0%	0.5%
8-4-1-5	数値図化 数値図化 レベル1，000 補測編集	7.5%	0.5%	2.5%
8-4-1-6	数値図化 数値図化 レベル1，000 数値地形図データファイルの作成	15.0%	0.0%	0.0%
8-4-2-1	数値図化 数値図化 レベル2，500 作業計画	0.0%	0.0%	0.0%
8-4-2-2	数値図化 数値図化 レベル2，500 現地調査	2.5%	0.5%	2.0%
8-4-2-3	数値図化 数値図化 レベル2，500 数値図化	47.5%	0.0%	0.5%
8-4-2-4	数値図化 数値図化 レベル2，500 数値編集	13.0%	0.0%	0.0%
8-4-2-5	数値図化 数値図化 レベル2，500 補測編集	8.0%	0.5%	1.5%
8-4-2-6	数値図化 数値図化 レベル2，500 数値地形図データファイルの作成	22.0%	0.0%	0.0%

第 9 航空レーザ測量

9－1 （略）

9－2 航空レーザ測量の積算方式

9－2－1～9－2－3 （略）

9－2－4 航空レーザ計測（計測作業）
1 （略）

2 運航時間と算定方法

(1) 空輸時間

航空機を常駐し管理している飛行場（以下「本拠飛行場」という。）が、計測地にできるだけ近く選定した計測飛行場（以下「計測飛行場」という。【第8空中写真測量 表－2】を参照*1）でない場合に、本拠飛行場から計測飛行場まで航空機を空輸する時間（往復）であって、次式により算定する。
また、この空輸した先の計測飛行場を前進飛行場という。

空輸時間＝ $\frac{〔計測飛行場までの往復直線距離（km）*1〕}{空輸運航速度*2}$ ＋〔離着陸時間（h）*3〕×2・・①

- *1. 計測飛行場までの往復直線距離は、【第8空中写真測量 表－2】を参照。ただし、表に掲載されていない区間については、経緯度を用いて直線距離を計算する。なお、数値は1の位を四捨五入（10km単位）とする。
- *2. 250km/hとする。
- *3. 片道の離着陸時間を0.5時間とする。

(2) (略)

9－2－6・9－2－7 (略)

9－2－8 調整点の設置

点群データの点検及び調整を行うための基準点を設置する作業であって、歩掛は別項による。
調整点の点数は、作業地域の面積（km²）を25で割った値に1を足した値を標準とし、少数部を切り上げ、最低数は4点とする。

9－2－9 点群データ及びオリジナルデータ作成

航空機搭載 GNSS データ、地上固定局 GNSS データ、航空機搭載 IMU データに各種点検とノイズ削除処理を施して得られた点群データについて、精度検証を実施してオリジナルデータを作成する作業であって、歩掛は別項による。

9－2－10～9－2－12 (略)

9－2－13 成果データファイル作成

製品仕様書に従ってオリジナルデータ等の成果データファイルを作成し、電磁的記録媒体に記録する作業であって、歩掛は別項による。

9－2－14 (略)

9－2－15 旅費交通費

撮影・計測に関する者の往復交通費は、本拠飛行場から前進飛行場までとする。操縦及び整備に関する者の往復交通費は計上しない。

前進飛行場を利用する場合は、操縦士、整備士各1名につき、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料、撮影士1名につき、本拠飛行場～前進飛行場までの公共交通機関による1往復分の運賃、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料を計上するものとする。

9－2－16 (略)

9－3 航空レーザ測量

2 運航時間と算定方法

(1) 空輸時間

航空機を常駐している飛行場（以下「本拠飛行場」という。）でない場合に、本拠飛行場から撮影飛行場まで航空機を空輸する時間（往復）であって、次式により算定する。
また、この空輸した先の撮影飛行場を前進飛行場という。

空輸時間＝ $\frac{〔計測飛行場までの往復直線距離（km）*1〕}{空輸運航速度*2}$ ＋〔離着陸時間（h）*3〕×2・・①

- *1. 計測飛行場までの往復直線距離は、【第8空中写真測量 表－2】を参照。ただし、表に掲載されていない区間については、経緯度を用いて直線距離を計算する。なお、数値は1の位を四捨五入（10km単位）とする。
- *2. 250km/hとする。
- *3. 片道の離着陸時間を0.5時間とする。

(2) (略)

9－2－6・9－2－7 (略)

9－2－8 調整用基準点の設置

三次元計測データの点検及び調整を行うための基準点を設置する作業であって、歩掛は別項による。調整用基準点の点数は、作業地域の面積（km²）を25で割った値に1を足した値を標準とし、最低数は4点とする。

9－2－9 三次元計測データ及びオリジナルデータ作成

航空機搭載 GNSS データ、地上飛行場局 GNSS データ、航空機搭載 IMU データ及び航空機搭載レーザ計測データから算定された点群データに、各種点検とノイズ削除処理を施し、三次元計測データを作成し、さらに精度検証を実施してオリジナルデータを作成する作業であって、歩掛は別項による。

9－2－10～9－2－12 (略)

9－2－13 数値地形図データファイル作成

製品仕様書に従って数値地形図データファイルを作成し、電磁的記録媒体に記録する作業であって、歩掛は別項による。

9－2－14 (略)

9－2－15 旅費交通費

前進飛行場を利用する場合は、操縦士、整備士各1名につき、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料、撮影士1名につき、本拠飛行場～前進飛行場までの公共交通機関による1往復分の運賃、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料を計上するものとする。

9－2－16 (略)

9-3-1 航空レーザ測量（地図情報レベル 1000）

(1) 標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、計測面積 100km² 以上とする。

標準作業量	作業工程		内外業の別	所要人日数						
				測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	操縦士	整備士	撮影士
100km2	全体計画		内	0.5	1.0	0.5				
100km2	航空レーザ計測	計測計画	内		0.3	0.3		0.3	0.3	0.3
1 時間		総運航	外							
1 時間		計測	外							
1 日		滞留	外					1.0	1.0	1.0
10 箇所	調整点の設置		外			5.0	7.5			
100km2	点群データ及びオリジナルデータ作成		内		15.0	30.0				
100km2	グラウンドデータ作成		内		20.0	60.0	40.0			
100km2	グリッド（標高）データ作成		内		2.0	10.0				
100km2	等高線データ作成		内		3.0	9.0				
100km2	成果データファイル作成		内	0.5	1.5	2.5				

（注）本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

9-3 航空レーザ測量（地図情報レベル 1000）

（新設）

本歩掛の適用範囲は、計測面積 100km² 以上とする。

標準作業量	作業工程			内外業の別	所要人日数						
					測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	操縦士	整備士	撮影士
100km2	全体計画			内	0.5	1.0	0.5				
100km2	航空 レーザ計測	計測計画		内		0.3	0.3		0.3	0.3	0.3
1 時間		計測 作業	総運航	外							
1 時間			計測	外							
1 日			滞留	外				1.0	1.0	1.0	
10 箇所			調整用基準点の設置			外		5.0	7.5		
100km2	三次元計測データ 及び オリジナルデータ作成			内		15.0	30.0				
100km2	グラウンドデータ作成			内		20.0	60.0	40.0			
100km2	グリッド（標高）データ 作成			内		2.0	10.0				
100km2	等高線データ作成			内		3.0	9.0				
100km2	数値地形図データファイル作成			内	0.5	1.5	2.5				

（注）本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。

(2) 機械経費、通信運搬費等、材料費
各費目の直接人件費に対する割合とする。

作業	作業名	機械経费率	通信運搬費 等率	材料费率
9-3-1	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 全体計画	1.0%	0.0%	0.0%
9-3-2	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 計測計画	8.5%	0.0%	5.5%
9-3-3	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 総運航			
9-3-4	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 計測			
9-3-5	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 滞留	0.0%	1.5%	0.0%
9-3-6	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 調整用基準点の設置	28.0%	0.0%	1.0%
9-3-7	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 点群データ及びオリジナルデータ作成	9.5%	0.0%	0.0%
9-3-8	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 グラウンドデータ作成	10.5%	0.0%	0.5%
9-3-9	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 グリッド（標高）データ作成	10.0%	0.0%	0.0%
9-3-10	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 等高線データ作成	10.0%	0.0%	0.0%
9-3-11	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 数値地形図データファイルの作成	9.5%	0.0%	2.0%

9-4 機械経費、通信運搬費等、材料費
各費目の直接人件費に対する割合とする。

作業	作業名	機械経费率	通信運搬費 等率	材料费率
9-3-1	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 全体計画	1.0%	0.0%	0.0%
9-3-2	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 計測計画	8.5%	0.0%	0.0%
9-3-3	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 総運航			
9-3-4	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 計測			
9-3-5	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 滞留	0.0%	1.5%	0.0%
9-3-6	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 調整用基準点の設置	22.5%	0.0%	1.0%
9-3-7	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 三次元計測データ及びオリジナルデータ作成	10.0%	0.0%	0.0%
9-3-8	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 グラウンドデータ作成	11.0%	0.0%	0.5%
9-3-9	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 グリッド（標高）データ作成	10.5%	0.0%	0.0%
9-3-10	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 等高線データ作成	10.0%	0.0%	0.0%
9-3-11	航空レーザ測量 数値図化 レベル1，000 数値地形図データファイルの作成	9.5%	0.0%	2.5%

9－3－2 航空レーザ測量（地図情報レベル 500）

（１）標準歩掛等

本歩掛の適用範囲は、計測面積 100km² 以上とする。また、本歩掛は点密度 4 点／m² で、格子間隔 1 m のデータを作成する場合に適用できる。

標準作業量	作業工程		内外業の別	所要人日数						
				測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	操縦士	整備士	撮影士
100km2	全体計画		内	0.6	0.9	0.8				
100km2	航空レーザ計測	計測計画	内		0.8	0.5		0.5	0.3	0.4
1 時間		総運航	外							
1 時間		計測	外							
1 日		滞留	外							
100km2	調整点の設置		外			3.9	4.4			
100km2	点群データ及びオリジナルデータ作成		内		15.9	32.5				
100km2	グラウンドデータ作成		内		20.6	55.6	48.1			
100km2	グリッド（標高）データ作成		内		2.6	9.5				
100km2	等高線データ作成		内		3.2	8.7				
100km2	成果データファイル作成		内	0.6	1.6	2.5				

（注） 1．本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
2．機械経費、通信運搬費等、材料費、総運航、計測、滞留については別途計上する。

（新設）

9－4 三次元点群測量
9－4－1 UAV 写真点群測量
(1) 標準歩掛等

標準作業量	作業工程		内外業の別	所要日数				
				測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
1 業務当たり	作業計画		内	0.5	0.3	0.2	0.3	
0.1km2 当たり	標定点及び検証点の設置・観測		外		4.7	1.1	3.3	1.1
	UAVによる空中撮影		外		3.2		2.0	0.9
	三次元形状復元 (オリジナルデータの作成)		内			3.7		
	グラウンドデータの作成及び構造化	成果データファイルの作成	内	1.2	1.7	2.4	0.8	
			内	1.4	1.8	1.3	0.7	
	内訳	外業計			7.9	1.1	5.3	2.0
		内業計		3.1	3.8	7.6	1.8	
	合 計			3.1	11.7	8.7	7.1	2.0

標準作業量	作業工程		編成					
			測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1 業務当たり	作業計画		1	1	1	1		4
0.1km2 当たり	標定点及び検証点の設置・観測			1	1	1	1	4
	UAVによる空中撮影			1		1	1	3
	三次元形状復元 (オリジナルデータの作成)				1			1
	グラウンドデータの作成及び構造化	成果データファイルの作成	1	1	1	1		4
			1	1	1	1		4
	内訳	外業計						
		内業計						
	合 計							

標準作業量	作業工程		延人数					
			測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1 業務当たり	作業計画		0.5	0.3	0.2	0.3		1.3
0.1km2 当たり	標定点及び検証点の設置・観測			4.7	1.1	3.3	1.1	10.2
	UAVによる空中撮影			3.2		2.0	0.9	6.1
	三次元形状復元 (オリジナルデータの作成)				3.7			3.7
		グラウンドデータの作成及び構造化	1.2	1.7	2.4	0.8		6.1
		成果データファイルの作成	1.4	1.8	1.3	0.7		5.2
	内訳	外業計		7.9	1.1	5.3	2.0	16.3
		内業計	3.1	3.8	7.6	1.8		16.3
		合 計	3.1	11.7	8.7	7.1	2.0	32.6

- (注) 1. 本歩掛の適用範囲は測定面積 0.2km2 以下とする。
2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
3. 標定点及び検証点の設置・観測については対空標識の設置・撤去を含む。
4. 基準点測量（基準点の設置）は、別途計上する。
5. 縦横断面データファイル作成（サーフェスモデル作成を含む）を行う場合は、0.1km2 当たり内業として測量主任技師 1.1 人・日、測量技師 2.5 人・日、測量技師補 2.3 人・日、測量助手 0.6 人・日を計上（編成は各 1 人）し、別途定める「三次元点群データを使用した断面図作成マニュアル（案）」に基づくものとする。なお、数値図化が必要な場合は別途計上する。
6. 本歩掛のうち作業計画については、UAV 写真点群測量の作業計画に係る費用以外は含まない。

(2) 機械経費、通信運搬費等、材料費

機械経費等（千円）＝3,405 ×（作業量：km2）＋ 93

機械経費等には機械経費、通信運搬費等、材料費を含むものとし、精度管理費等の算出には以下の機械経費を用いるものとする。

機械経費（千円）＝機械経費等（千円）×0.70

9－4－2 地上レーザ測量

(1) 標準歩掛等

標準作業量	作業工程		内外業の別	所要日数				
				測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
1 業務当たり	作業計画		内	0.7	0.6			
0.1km2 当たり	標定点の設置・観測		外		4.9		2.0	2.5
	地上レーザ計測		外		7.6	8.0		
	グラウンドデータ等の作成		内	1.0	3.0	4.2		
	成果データファイルの作成		内	1.1	4.4	6.4		
	内 訳	外業計			12.5	8.0	2.0	2.5
		内業計		2.8	8.0	10.6		
	合 計			2.8	20.5	18.6	2.0	2.5

標準作業量	作業工程		編成					
			測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1 業務当たり	作業計画		1	1				2
0.1km2 当たり	標定点の設置・観測			1		1	1	3
	地上レーザ計測			1	1			2
	グラウンドデータ等の作成		1	1	1			3
	成果データファイルの作成		1	1	1			3
	内 訳	外業計						
		内業計						
	合 計							

標準作業量	作業工程		延人日数					計
			測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
1 業務当たり	作業計画		0.7	0.6				1.3
0.1km2 当たり	標定点の設置・観測			4.9		2.0	2.5	9.4
	地上レーザ計測			7.6	8.0			15.6
	グラウンドデータ等の作成		1.0	3.0	4.2			8.2
	成果データファイルの作成		1.1	4.4	6.4			11.9
	内訳	外業計		12.5	8.0	2.0	2.5	25.0
		内業計	2.8	8.0	10.6			21.4
	合 計		2.8	20.5	18.6	2.0	2.5	46.4

- (注) 1. 本歩掛の適用範囲は測定面積 0.2km2 以下とする。
2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
3. 基準点測量（基準点の設置）は、別途計上する。
4. 縦横断面データファイル作成（サーフェスモデル作成を含む）を行う場合は、0.1km2 当たり内業として測量主任技師 1.0 人・日、測量技師 2.9 人・日、測量技師補 5.3 人・日を計上（編成は各 1 人）し、別途定める「三次元点群データを使用した断面図作成マニュアル（案）」に基づくものとする。なお、数値図化が必要な場合は別途計上する。
5. 本歩掛のうち作業計画については、地上レーザ測量の作業計画に係る費用以外は含まない。

- (2) 機械経費、通信運搬費等、材料費
- 機械経費等（千円）＝5,996 ×（作業量：km2）＋ 219
- 機械経費等には機械経費、通信運搬費等、材料費を含むものとし、精度管理費等の算出には以下の機械経費を用いるものとする。
- 機械経費（千円）＝機械経費等（千円）×0.75

(新設)

9－4－3 UAV レーザ測量

(1) 標準歩掛等

標準作業量	作業工程		内外業の別	所要日数				
				測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
1 業務当たり	作業計画		内	1.3	1.2	0.6		
0.1km2 当たり	調整点及び検証点の設置		外		4.7	2.5	2.7	
	UAVレーザ計測		外		3.1	2.0	2.9	
	点群編集		内		11.8	10.3	10.4	
	三次元点群データファイルの作成		内		1.8	3.3		
	数値地形図データファイルの作成		内		3.7	5.9		
	内訳	外業計			7.8	4.5	5.6	
		内業計		1.3	18.5	20.1	10.4	
		合 計		1.3	26.3	24.6	16.0	

標準作業量	作業工程		編成					
			測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計
1 業務当たり	作業計画		1	1	1			3
0.1km2 当たり	調整点及び検証点の設置			1	1	1		3
	UAVレーザ計測			1	1	1		3
	点群編集			1	1	1		3
	三次元点群データファイルの作成			1	1			2
	数値地形図データファイルの作成			1	1			2
	内訳	外業計						
		内業計						
		合 計						

標準作業量	作業工程		延人日数					計
			測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
1 業務当たり	作業計画		1.3	1.2	0.6			3.1
0.1km2 当たり	調整点及び検証点の設置			4.7	2.5	2.7		9.9
	UAVレーザ計測			3.1	2.0	2.9		8.0
	点群編集			11.8	10.3	10.4		32.5
	三次元点群データファイルの作成			1.8	3.3			5.1
	数値地形図データファイルの作成			3.7	5.9			9.6
	内訳	外業計		7.8	4.5	5.6		17.9
		内業計	1.3	18.5	20.1	10.4		50.3
	合 計		1.3	26.3	24.6	16.0		68.2

- (注) 1. 本歩掛の適用範囲は測定面積 0.2km2 以下とする。
2. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。
3. 調整点及び検証点の設置については対空標識の設置・撤去を含む。
4. 基準点測量（基準点の設置）は、別途計上する。
5. 機械経費、通信運搬費等、材料費については別途計上する。
6. 本歩掛のうち作業計画については、U A V レーザ測量の作業計画に係る費用以外は含まない。

第 10 深浅測量

10－ 1 ～10－ 4 （略）

10－ 5 成 果
10－ 5 － 1 （略）

10－ 5 － 2 電子成果品
電子成果品費

報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、第 3 部第 1 章 1－3－5 電子成果品作成費により算出する。

(削る)

10－ 6 （略）

第 10 深浅測量

10－ 1 ～10－ 4 （略）

10－ 5 成 果
10－ 5 － 1 （略）

10－ 5 － 2 業務成果品
1 業務成果品

報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、下記の式により算出する。
ただし、印刷・製本部数は 3 部迄とし、これにより難い場合は別途見積により考慮する。
業務成果品費＝直接測量費（業務成果品費除く）× {2.0%＋（印刷製本部数×0.6%）}
業務成果品費は、有効数字上位 2 桁、以下切り捨てとし、最高 20 万円を限度とする。

2 代価表

業務成果品

(1 式当たり)

名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要
業務成果品費		式	1	

10－ 6 （略）

第 11 汀線測量

11－ 1 ～11－ 4 （略）

11－ 5 － 2 電子成果品

電子成果品費

報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、第 3 部第 1 章 1－3－5 電子成果品作成費により算出する。

(削る)

11－ 6 （略）

第 12 環境生物調査

12－ 1 ～12－ 5 （略）

12－ 6 成 果

12－ 6 － 1 電子成果品

1 報告書作成

報告書作成については、「12－ 5 － 2 解析・考察」に含む。

2 電子成果品費

報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、第 3 部第 1 章 1－3－5 電子成果品作成費により算出する。

(削る)

12－ 7 （略）

第 11 汀線測量

11－ 1 ～11－ 4 （略）

11－ 5 － 2 業務成果品

1 業務成果品

報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、下記の式により算出する。

ただし、印刷・製本部数は 3 部迄とし、これにより難い場合は別途見積により考慮する。

業務成果品費＝直接測量費（業務成果品費除く）× {2.0%＋（印刷製本部数×0.6%）}

業務成果品費は、有効数字上位 2 桁、以下切り捨てとし、最高 20 万円を限度とする。

2 代価表

業務成果品

(1 式当たり)

名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要
業務成果品費		式	1	

11－ 6 （略）

第 12 環境生物調査

12－ 1 ～12－ 5 （略）

12－ 6 成 果

12－ 6 － 1 業務成果品

1 報告書作成

報告書作成については、「12－ 5 － 2 解析・考察」に含む。

2 業務成果品費

報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、下記の式により算出する。

ただし、印刷・製本部数は 3 部迄とし、これにより難い場合は別途見積により考慮する。

業務成果品費＝直接測量費（業務成果品費、分析試験費除く）× {1.0%＋（印刷製本部数×0.3%）}

なお、業務成果品費は、有効数字上位 2 桁、以下切り捨てとし、最高 20 万円を限度とする。

代価表

業務成果品

(1 式当たり)

名 称	形 状 寸 法	単位	数 量	摘 要
業務成果品費		式	1	

12－ 7 （略）

第4部 設計業務

第1章・第2章 (略)

第3章 設計業務標準歩掛

第1 共通

1-1 打合せ等

(1業務当たり)

区 分		主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	備 考
打 合 せ	業務着手時	0.5	0.5	0.5		(対面)
	中間打合せ	0.5	0.5	0.5		1 回当たり (対面)
	成果物納入時	0.5	0.5	0.5		(対面)
関係機関打合せ協議		0.5	0.5			1 機関 1 回当たり (対面)

(注) 1～3 (略)

4. 関係機関打合せ協議の回数は、1 機関当たり 1 回程度とし、関係機関打合せ協議の回数を増減する場合は、1 回当たり関係機関打合せ協議 1 回の人員を増減する。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。

1-2 (略)

第2 溪間工設計

治山ダム設計フロー
(略)

2-1 治山ダム設計 A

(略)

2-1-1 治山ダム工予備設計

1 標準歩掛
(略)

(1 基当たり)

区 分 \ 職 種		内外業別	主任技術者	技師長	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員
設計計画		内			1.0	1.0	1.0		
基本事項検討		内			1.0	1.0	1.0		
配置設計		内				1.0	1.5	2.0	3.5
施設設計検討	本体工設計	内			1.0	1.0	2.0	2.0	5.0
	基礎工検討	内			0.5	0.5	1.0		
	景観検討	内			1.0	1.0	1.0	1.5	2.0
概算工事費算出		内						2.0	2.0
最適案の選定		内			0.5	1.0	1.0		
施工計画検討		内				0.5	0.5	1.0	
照 査		内			1.0	1.0			
総合検討		内			0.6	0.8	0.6		
報告書作成		内			0.6	1.4	2.6	2.0	2.0
合 計			0.0	0.0	7.2	10.2	12.2	10.5	14.5

(注) (略)

第4部 設計業務

第1章・第2章 (略)

第3章 設計業務標準歩掛

第1 共通

1-1 打合せ等

(1業務当たり)

区 分		主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	備 考
打 合 せ	業務着手時	0.5	0.5	0.5		(対面)
	中間打合せ	0.5	0.5	0.5		1 回当たり (対面)
	成果物納入時	0.5	0.5	0.5		(対面)
関係機関打合せ協議		0.5	0.5			1 機関 1 回当たり (対面)

(注) 1～3 (略)

4. 関係機関打合せ協議の回数は、1 機関当たり 1 回程度とする。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。

1-2 (略)

第2 溪間工設計

治山ダム設計フロー
(略)

2-1 治山ダム設計 A

(略)

2-1-1 治山ダム工予備設計

1 標準歩掛
(略)

(1 基当たり)

区 分 \ 職 種		(新設)	主任技術者	技師長	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員
設計計画		(新設)			1.0	1.0	1.0		
基本事項検討		(新設)			1.0	1.0	1.0		
配置設計		(新設)				1.0	1.5	2.0	3.5
施設設計検討	本体工設計	(新設)			1.0	1.0	2.0	2.0	5.0
	基礎工検討	(新設)			0.5	0.5	1.0		
	景観検討	(新設)			1.0	1.0	1.0	1.5	2.0
概算工事費算出		(新設)						2.0	2.0
最適案の選定		(新設)			0.5	1.0	1.0		
施工計画検討		(新設)				0.5	0.5	1.0	
照 査		(新設)			1.0	1.0			
総合検討		(新設)			0.6	0.8	0.6		
報告書作成		(新設)			0.6	1.4	2.6	2.0	2.0
合 計			0.0	0.0	7.2	10.2	12.2	10.5	14.5

(注) (略)

2－1－2 治山ダム詳細設計

1 標準歩掛
(略)

(1 基当たり)

区 分 \ 職 種		内外業別	主任技術者	技師長	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	備考
設計計画		内			0.4	1.1	1.6			
基本事項検討		内			0.6	1.8	2.5	1.0	0.7	
施設設計	本堤工 (透過型)	内				2.2	4.9	5.0	7.1	
	本堤工 (透水型・遮水型)	内				1.7	2.6	4.4	4.8	
	副ダム工	内					1.7	2.4	4.3	
	水叩き工	内					0.2	0.8	1.1	箇所当たり
	側壁護岸工	内					0.4	1.0	1.5	箇所当たり
	床固工	内					1.0	1.5	1.0	
	流末処理設計	内				0.2	0.3	0.3	0.5	10m当たり
	基礎工設計	内				1.0	2.0	1.1	0.4	
	景観設計	内				0.7	1.4	1.7	1.8	
施工計画		内				1.0	1.9	2.3	3.0	
仮設構造物設計		内				0.5	1.0	1.3	1.7	
数量計算		内					1.7	4.3	5.1	
照査		内			1.2	1.5	1.2	0.8		
総合検討		内			0.9	1.6	1.6			
報告書作成		内			0.6	1.5	2.7	3.1	3.1	
合計	透過型				3.7	13.1	26.1	26.6	31.3	
	透水型・遮水型				3.7	12.6	23.8	26.0	29.0	

(注) (略)

2－1－2 治山ダム詳細設計

1 標準歩掛
(略)

(1 基当たり)

区 分 \ 職 種		(新設)	主任技術者	技師長	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	備考
設計計画		(新設)			0.4	1.1	1.6			
基本事項検討		(新設)			0.6	1.8	2.5	1.0	0.7	
施設設計	本堤工 (透過型)	(新設)				2.2	4.9	5.0	7.1	
	本堤工 (透水型・遮水型)	(新設)				1.7	2.6	4.4	4.8	
	副ダム工	(新設)					1.7	2.4	4.3	
	水叩き工	(新設)					0.2	0.8	1.1	箇所当たり
	側壁護岸工	(新設)					0.4	1.0	1.5	箇所当たり
	床固工※2	(新設)					1.0	1.5	1.0	
	流末処理設計	(新設)				0.2	0.3	0.3	0.5	10m当たり
	基礎工設計	(新設)				1.0	2.0	1.1	0.4	
	景観設計	(新設)				0.7	1.4	1.7	1.8	
施工計画		(新設)				1.0	1.9	2.3	3.0	
仮設構造物設計		(新設)				0.5	1.0	1.3	1.7	
数量計算		(新設)					1.7	4.3	5.1	
照査		(新設)			1.2	1.5	1.2	0.8		
総合検討		(新設)			0.9	1.6	1.6			
報告書作成		(新設)			0.6	1.5	2.7	3.1	3.1	
合計	透過型				3.7	13.1	26.1	26.6	31.3	
	透水型・遮水型				3.7	12.6	23.8	26.0	29.0	

(注) (略)

2-2 治山ダム設計B
(略)

2-2-1 治山ダム（透水性・遮水性）実施設計
1 標準歩掛
(略)

(1基又は1件当たり)

職種区分	内外業別	単位	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
設計計画	内	基			0.2	0.6	0.8		
現地踏査	外	件			0.4	0.8	1.2	0.8	
基本事項検討	内	基			0.2	0.7	1.0	0.4	0.3
施設設計	内	基				0.9	1.3	2.3	2.5
数量計算	内	基					0.5	1.2	1.4
照査	内	基			0.4	0.5	0.4	0.3	
設計説明書作成	内	件			0.3	0.7	1.3	1.5	1.5
合計			0.0	0.0	1.5	4.2	6.5	6.5	5.7

(注) (略)

2-2-2 治山ダム（透過型）実施設計

1 標準歩掛
(略)

(1基又は1件当たり)

職種区分	内外業別	単位	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
設計計画	内	基			0.3	0.8	1.1		
現地踏査	外	件			0.7	1.4	2.2	1.4	
基本事項検討	内	基			0.6	1.9	2.7	1.1	0.7
施設設計	内	基				1.1	2.5	2.6	3.7
数量計算	内	基					0.5	1.4	1.6
照査	内	基			0.4	0.5	0.4	0.3	
設計説明書作成	内	件			0.3	0.7	1.2	1.4	1.4
合計			0.0	0.0	2.3	6.4	10.6	8.2	7.4

(注) (略)

2-2 治山ダム設計B
(略)

2-2-1 治山ダム（透水性・遮水性）実施設計（参考歩掛）
1 標準歩掛
(略)

(1基又は1件当たり)

職種区分	(新設)	単位	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
設計計画	(新設)	基			0.2	0.6	0.8		
現地踏査	(新設)	件			0.4	0.8	1.2	0.8	
基本事項検討	(新設)	基			0.2	0.7	1.0	0.4	0.3
施設設計	(新設)	基				0.9	1.3	2.3	2.5
数量計算	(新設)	基					0.5	1.2	1.4
照査	(新設)	基			0.4	0.5	0.4	0.3	
設計説明書作成	(新設)	件			0.3	0.7	1.3	1.5	1.5
合計			0.0	0.0	1.5	4.2	6.5	6.5	5.7

(注) (略)

2-2-2 治山ダム（透過型）実施設計（参考歩掛）

1 標準歩掛
(略)

(1基又は1件当たり)

職種区分	(新設)	単位	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
設計計画	(新設)	基			0.3	0.8	1.1		
現地踏査	(新設)	件			0.7	1.4	2.2	1.4	
基本事項検討	(新設)	基			0.6	1.9	2.7	1.1	0.7
施設設計	(新設)	基				1.1	2.5	2.6	3.7
数量計算	(新設)	基					0.5	1.4	1.6
照査	(新設)	基			0.4	0.5	0.4	0.3	
設計説明書作成	(新設)	件			0.3	0.7	1.2	1.4	1.4
合計			0.0	0.0	2.3	6.4	10.6	8.2	7.4

(注) (略)

2－3 流木対策

(略)

2－3－1 流木対策調査

1 標準歩掛

(略)

(1 業務当たり)

職 種	内外 業別	主 任 技術者	技師長	主 任 技 師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員
計 画 準 備	内			0.5	1.0	1.0		
現 地 調 査	外			1.5	1.5	2.5	2.0	2.0
流 域 現 況 調 査	内				2.0	4.0	3.5	2.0
地 形 調 査					(0.5)	(0.5)	(1.0)	
地 質 調 査					(0.5)	(1.0)		
林 相 調 査					(0.5)	(1.0)	(1.0)	
荒 廃 状 況 調 査						(0.5)	(0.5)	(1.0)
既 往 災 害 調 査					(0.5)	(1.0)		
保 全 対 象 の 状 況 調 査							(1.0)	(1.0)
既 存 施 設 調 査	内					1.0	1.5	1.0
未 計 上 分 の 施 設 諸 元 整 理						(0.5)	(1.0)	
施 設 現 況 図 作 成						(0.5)	(0.5)	(1.0)
流 木 発 生 原 因 調 査	内			0.5	0.5	1.0		
発 生 場 所 ・ 量 ・ 長 さ ・ 直 径 の 調 査	内				1.0	0.5	1.0	1.0
総 合 検 討	内			0.5	1.0			
合 計		0.0	0.0	3.0	7.0	10.0	8.0	6.0

「()」は細目内訳人員数を示す。」

(注) (略)

2－3－2 流木対策施設計画

1 標準歩掛

(略)

(1 業務当たり)

職 種	内外 業別	主 任 技術者	技師長	主 任 技 師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員
計 画 準 備	内			0.5	1.0	1.5		
現 地 調 査	外			1.0	1.5	1.0	1.0	
流 出 流 木 量 の 設 定	内				0.5	1.5	1.5	
流 木 に よ る 被 害 の 推 定	内				0.5	0.5	1.0	
流 木 対 策 施 設 配 置 計 画	内			1.5	1.0	2.0	3.0	0.5
対 策 施 設 設 定				(1.0)	(1.0)	(1.0)	(1.5)	(0.5)
対 策 優 先 度 検 討				(0.5)		(1.0)	(1.5)	
照 査	内			0.5		0.5		
総 合 検 討	内			0.5	0.5			
合 計		0.0	0.0	4.0	5.0	7.0	6.5	0.5

「()」は細目内訳人員数を示す。」

(注) (略)

2－3 流木対策

(略)

2－3－1 流木対策調査

1 標準歩掛

(略)

(1 業務当たり)

職 種	(新設)	主 任 技術者	技師長	主 任 技 師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員
計 画 準 備	(新設)			0.5	1.0	1.0		
現 地 調 査	(新設)			1.5	1.5	2.5	2.0	2.0
流 域 現 況 調 査	(新設)				2.0	4.0	3.5	2.0
地 形 調 査					(0.5)	(0.5)	(1.0)	
地 質 調 査					(0.5)	(1.0)		
林 相 調 査					(0.5)	(1.0)	(1.0)	
荒 廃 状 況 調 査						(0.5)	(0.5)	(1.0)
既 往 災 害 調 査					(0.5)	(1.0)		
保 全 対 象 の 状 況 調 査							(1.0)	(1.0)
既 存 施 設 調 査	(新設)					1.0	1.5	1.0
未 計 上 分 の 施 設 諸 元 整 理						(0.5)	(1.0)	
施 設 現 況 図 作 成						(0.5)	(0.5)	(1.0)
流 木 発 生 原 因 調 査	(新設)			0.5	0.5	1.0		
発 生 場 所 ・ 量 ・ 長 さ ・ 直 径 の 調 査	(新設)				1.0	0.5	1.0	1.0
総 合 検 討	(新設)			0.5	1.0			
合 計		0.0	0.0	3.0	7.0	10.0	8.0	6.0

「()」は細目内訳人員数を示す。」

(注) (略)

2－3－2 流木対策施設計画

1 標準歩掛

(略)

(1 業務当たり)

職 種	(新設)	主 任 技術者	技師長	主 任 技 師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員
計 画 準 備	(新設)			0.5	1.0	1.5		
現 地 調 査	(新設)			1.0	1.5	1.0	1.0	
流 出 流 木 量 の 設 定	(新設)				0.5	1.5	1.5	
流 木 に よ る 被 害 の 推 定	(新設)				0.5	0.5	1.0	
流 木 対 策 施 設 配 置 計 画	(新設)			1.5	1.0	2.0	3.0	0.5
対 策 施 設 設 定				(1.0)	(1.0)	(1.0)	(1.5)	(0.5)
対 策 優 先 度 検 討				(0.5)		(1.0)	(1.5)	
照 査	(新設)			0.5		0.5		
総 合 検 討	(新設)			0.5	0.5			
合 計		0.0	0.0	4.0	5.0	7.0	6.5	0.5

「()」は細目内訳人員数を示す。」

(注) (略)

2－3－3 流木対策工予備設計

1 標準歩掛
(略)

(1 業務当たり)

区 分 \ 職 種	<u>内外業別</u>	主 任 技術者	技師長	主 任 技 師	技師 A	技師 B	技師 C	技術 員
設 計 計 画	<u>内</u>			0.5	1.0	1.5		
現 地 踏 査	<u>外</u>				1.0	2.0		
基 本 事 項 検 討	<u>内</u>			0.5	1.0	1.5		
施 設 設 計 検 討	<u>内</u>			1.0	1.0	3.5	5.5	5.5
設 計 計 算				(1.0)	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.5)
基本図面作成						(1.5)	(2.5)	(3.0)
数 量 算 出						(1.0)	(2.0)	(2.0)
概 算 工 事 費 算 出	<u>内</u>						2.0	2.0
最 適 案 の 選 定	<u>内</u>			0.5	0.5			
照 査	<u>内</u>			1.0	0.5	1.0		
総 合 検 討	<u>内</u>			0.5	1.0	1.0		
合 計		0.0	0.0	4.0	6.0	10.5	7.5	7.5

「()」は細目内訳人員数を示す。」

(注) (略)

2－3－4 流木対策工詳細設計

1 標準歩掛
(略)

(1 業務当たり)

区 分 \ 職 種	<u>内外業別</u>	主 任 技術者	技師長	主 任 技 師	技師 A	技師 B	技師 C	技術 員
設 計 計 画	<u>内</u>			1.5	1.5	1.5		
現 地 踏 査	<u>外</u>				1.0	2.0		
基 本 事 項 決 定	<u>内</u>			1.5	2.0	3.5		
地 質 条 件				(0.5)	(0.5)	(1.0)		
設 計 条 件				(0.5)	(1.0)	(1.5)		
環 境 条 件				(0.5)	(0.5)	(1.0)		
施 設 設 計	<u>内</u>				3.5	5.5	5.5	2.5
設 計 計 算					(2.0)	(2.0)	(2.5)	
設 計 図 作 成					(1.5)	(3.5)	(3.0)	(2.5)
数 量 計 算	<u>内</u>					3.0	4.0	5.5
照 査	<u>内</u>			0.5	1.0	2.7	1.2	
総 合 検 討	<u>内</u>			1.5	1.0	1.0	0.5	
合 計		0.0	0.0	5.0	10.0	19.2	11.2	8.0

「()」は細目内訳人員数を示す。」

(注) (略)

2－3－3 流木対策工予備設計

1 標準歩掛
(略)

(1 業務当たり)

区 分 \ 職 種	<u>(新設)</u>	主 任 技術者	技師長	主 任 技 師	技師 A	技師 B	技師 C	技術 員
設 計 計 画	<u>(新設)</u>			0.5	1.0	1.5		
現 地 踏 査	<u>(新設)</u>				1.0	2.0		
基 本 事 項 検 討	<u>(新設)</u>			0.5	1.0	1.5		
施 設 設 計 検 討	<u>(新設)</u>			1.0	1.0	3.5	5.5	5.5
設 計 計 算				(1.0)	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.5)
基本図面作成						(1.5)	(2.5)	(3.0)
数 量 算 出						(1.0)	(2.0)	(2.0)
概 算 工 事 費 算 出	<u>(新設)</u>						2.0	2.0
最 適 案 の 選 定	<u>(新設)</u>			0.5	0.5			
照 査	<u>(新設)</u>			1.0	0.5	1.0		
総 合 検 討	<u>(新設)</u>			0.5	1.0	1.0		
合 計		0.0	0.0	4.0	6.0	10.5	7.5	7.5

「()」は細目内訳人員数を示す。」

(注) (略)

2－3－4 流木対策工詳細設計

1 標準歩掛
(略)

(1 業務当たり)

区 分 \ 職 種	<u>(新設)</u>	主 任 技術者	技師長	主 任 技 師	技師 A	技師 B	技師 C	技術 員
設 計 計 画	<u>(新設)</u>			1.5	1.5	1.5		
現 地 踏 査	<u>(新設)</u>				1.0	2.0		
基 本 事 項 決 定	<u>(新設)</u>			1.5	2.0	3.5		
地 質 条 件				(0.5)	(0.5)	(1.0)		
設 計 条 件				(0.5)	(1.0)	(1.5)		
環 境 条 件				(0.5)	(0.5)	(1.0)		
施 設 設 計	<u>(新設)</u>				3.5	5.5	5.5	2.5
設 計 計 算					(2.0)	(2.0)	(2.5)	
設 計 図 作 成					(1.5)	(3.5)	(3.0)	(2.5)
数 量 計 算	<u>(新設)</u>					3.0	4.0	5.5
照 査	<u>(新設)</u>			0.5	1.0	2.7	1.2	
総 合 検 討	<u>(新設)</u>			1.5	1.0	1.0	0.5	
合 計		0.0	0.0	5.0	10.0	19.2	11.2	8.0

「()」は細目内訳人員数を示す。」

(注) (略)

2-4 流路工
2-4-1 流路工実施設計

1 標準歩掛
(略)

(1 箇所当たり)

職 種		内外業別	主任技術者	技師長	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員
区 分									
設計計画		内			0.5	1.0	1.5		
基本事項決定		内			0.5	1.0	1.0		
施設設計	護岸工	内				1.5	1.0	2.0	3.0
	床固工	内				2.0	2.0	1.5	2.5
	帯工	内						1.0	2.0
	水叩き工	内					1.5	1.5	1.0
施工計画・仮設構造物設計		内					1.5	1.0	1.5
数量計算		内				1.0	2.0	2.5	3.0
照 査		内			0.5	1.5	0.9	0.9	
総合検討		内			1.0	2.0	0.5		
報告書作成		内			1.0	1.5	1.5	1.0	2.0
合 計			0.0	0.0	3.5	11.5	13.4	11.4	15.0

(注) (略)

2・3 (略)

第3 山腹工設計

3-1 山腹工設計歩掛

本歩掛は、山腹工の設計に適用する。なお、山腹工設計の対象箇所1箇所を1件とする。ただし、グラントアンカー工、補強土工（ロックボルト）、航空実播工、落石防止工の施設設計等は別途計上する。

1 設計計画

(1 件当たり)

職種	内外業別	技師長	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員
区分							
設計計画	内業		0.60	1.1	1.6		

2 現地調査

(削る)

2-4 流路工
2-4-1 流路工実施設計

1 標準歩掛
(略)

(1 箇所当たり)

職 種		(新設)	主任技術者	技師長	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員
区 分									
設計計画		(新設)			0.5	1.0	1.5		
基本事項決定		(新設)			0.5	1.0	1.0		
施設設計	護岸工	(新設)				1.5	1.0	2.0	3.0
	床固工	(新設)				2.0	2.0	1.5	2.5
	帯工	(新設)						1.0	2.0
	水叩き工	(新設)					1.5	1.5	1.0
施工計画・仮設構造物設計		(新設)					1.5	1.0	1.5
数量計算		(新設)				1.0	2.0	2.5	3.0
照 査		(新設)			0.5	1.5	0.9	0.9	
総合検討		(新設)			1.0	2.0	0.5		
報告書作成		(新設)			1.0	1.5	1.5	1.0	2.0
合 計			0.0	0.0	3.5	11.5	13.4	11.4	15.0

(注) (略)

2・3 (略)

第3 山腹工設計

3-1 山腹工設計歩掛

本歩掛は、山腹工の設計に適用する。

1 設計計画

(1 件当たり)

職種	(新設)	技師長	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員
区分							
設計計画	(新設)		0.5	1.0	1.5		

2 現地調査

(1 件当たり)

種 別		直接人件費						労務費		材料費
技術者の名称		技師長	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	普通作業員	図工	雑品
調査項目										
現地調査	外業		0.66	1.22 0.74	1.22 1.24	1.06	1.86 1.12			
	内業									
	計		0.66	1.22 0.74	1.22 1.24	1.06	1.86 1.12			

(1件当たり)							
職種 区分	内外 業別	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
現地調査	外業		0.5	0.9	0.9	0.8	1.3

(注) 1. 本歩掛は、山腹面積 0.3ha 未満の場合は安定計算を行う土留工の基数が 4 基以下、山腹面積 0.3ha 以上 0.5ha 未満の場合は 6 基以下、山腹面積 0.5ha 以上 1.0ha 未満の場合は 13 基以下において適用できる。

2. 本歩掛の補正は、次表の補正係数を乗じる。

① 面積による補正

山腹面積	0.3ha 未満	0.3ha 以上 0.5ha 未満	0.5ha 以上 1.0ha 未満
補正係数	1.0	1.1	1.2

(注) 1.0ha 以上の場合には、別途積算する。

② 工種等による補正

工種等		補正係数
a	のり切工、土留工、水路工・暗渠工、柵工・筋工・伏工、植栽工などを組み合わせた設計箇所	1.0
b	のり枠工、モルタル（コンクリート）吹付工、種子吹付工・客土吹付工・植生基材吹付工などを主体とする設計箇所	1.0
c	上記 a,b が 1 箇所に混在した設計箇所	1.2

3 基本事項検討

(削る)

(注) 1. 下段数値は、森林整備保全事業の調査・測量・設計及び計画業務積算要領 第 5 部 計画作成等業務に準じて作成された資料又は同等以上の資料を与える場合（以下、「全体計画資料等を与える場合」という。）に適用する。

2. 発注者が工種、位置、構造、規模等を指示する場合には、この歩掛は計上しない。

3. 溪間工の現地調査範囲と重複し、併せて現地調査現地調査する場合には、歩掛を 0.8 掛とする。

4. 補正は次表のとおりとする。

① 規模による補正

山腹面積 (ha)	0.3ha未満	0.3ha以上 0.5ha未満	0.5ha以上 1.0ha未満	1.0ha以上 2.0ha未満
補正值	-0.2	-0.1	0	+0.2

(注) 2.0ha 以上の場合には、別途積算することができる。

② 地況による補正

区 分	易	中	難
補正值	-0.2	0	+0.2

(新設)

3 基本事項の決定

(1件当たり)										
調査項目	種 別	直 接 人 件 費						労務費		材料費
	技術者の 名称	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	普通作業員	図工	雑品
	外業									

(1件当たり)							
職種 区分	内外 業別	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
基本事項検討	内業		1.4	1.6	1.6		

(注) 複数案を比較して工種工法の検討を行う作業を含む。

4 施設設計等

(削る)

基本事項 の 決 定	内業		1.16	1.32 0.68	1.32 1.18					
	計		1.16	1.32 0.68	1.32 1.18					

- (注) 1. 単純な山腹工には適用しない。
2. 全体計画資料等を与える場合には、下段数値を適用する。
3. 発注者が工種、位置、構造、規模等を指示する場合には、この歩掛は計上しない。
4. 溪間工の現地調査範囲と重複し、併せて現地調査する場合には、歩掛を 0.6 掛とする。

(新設)

4 施設設計

(1件当たり)										
種 別 技術者の 名称 調査項目		直 接 人 件 費						労務費		材料費
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	普通作業員	図工	雑品
設計計画	外業									
	内業		1.20 0.66		1.40 1.32	1.20 1.16				
	計		1.20 0.66		1.40 1.32	1.20 1.16				

- (注) 1. 全体計画資料等を与える場合は、下段数値を適用する。
2. この歩掛は、山腹工一切（土留工、水路工、暗渠工、法切工、緑化工等）の設計に適用する。
3. 補正は次表のとおりとする。

① 規模による補正

一件当たり 山腹合計面積	0.3ha未満	0.3ha以上 0.5ha未満	0.5ha以上 1.0ha未満	1.0ha以上 2.0ha未満
補正值	－0.2	－0.1	0	＋0.2

(注) 1. 2.0ha 以上の場合には、別途積算することができる。

② 工種の組合せによる補正

区 分	単純な工種 のみの場合	通常の組合 せの場合	複雑な工種 のみの場合
補正值	－0.2	0	＋0.2

- (注) 1. 単純な工種のみの場合とは、落下防止の土留工のみの場合、一種類の山腹基礎工（植栽工等簡易な緑化工を含む。）のみの場合をいう。
2. 複雑な工種のみの場合とは、高度な技術を必要とする場合等をいう。

(1件当たり)							
職種 区分	内外 業別	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
施設設計・設 計図作成	内業		0.7	1.1	3.4	3.5	2.7
数量計算	内業					1.8	3.2
照査	内業		0.7		1.4		

- (注) 1. 本歩掛は、山腹面積 0.3ha 未満の場合は安定計算を行う土留工の基数が 4 基以下、山腹面積 0.3ha 以上 0.5ha 未満の場合は 6 基以下、山腹面積 0.5ha 以上 1.0ha 未満の場合は 13 基以下において適用できる。
2. 本歩掛の補正は、前項 2 現地調査の (注) 2. ①面積による補正、②工種等による補正と同じとする。
3. 施設設計には、必要な構造物等の安定計算を含む。
4. 設計図作成には、平面図・工種配置図等の作成を含む。

(削る)

(削る)

(新設)

5 安定計算

(1件当たり)										
調査項目	種 別	直 接 人 件 費						労務費		材料費
	技術者の 名称	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	普通作業員	図工	雑品
安定計算	外業									
	内業				1.34	1.17				
	計				1.34	1.17				

(注) 規模及び工種の組合せによる補正は、前項 4 施設設計の (注) 3. ①、②に同じ。

6 設計図作成

(1) 平面図等作成 (工種配置図、縦断、横断面図)

(1件当たり)										
調査項目	種 別	直 接 人 件 費						労務費		材料費
	技術者の 名称	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	普通作業員	図工	雑品
平面図等 作成	外業									
	内業			0.84	1.34	1.17	2.17		2.00	
	計			0.84	1.34	1.17	2.17		2.00	

- (注) 1. 崩壊地のほか周辺との関連をできるだけ図示する。
2. 規模及び工種の組合せによる補正は、前項 4 施設設計の (注) 3. ①、②に同じ。

(削る)

(削る)

(2) 構造図作成

(1 件当たり)

種 別		直 接 人 件 費						労務費		材料費
		技師長	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	普通作業員	図 工	雑 品
調査項目	外業									
	内業			0.92	1.42	2.21	2.21		2.00	
	計			0.92	1.42	2.21	2.21		2.00	

(注) 1. この歩掛には測量原図への構造物の記入が含まれている。
2. 規模及び工種の組合せによる補正は、前項 3. (1) 設計計画の(注) 3. ①、②に同じ。

7 数量計算

(1 件当たり)

種 別		直 接 人 件 費						労務費		材料費
		技師長	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	普通作業員	図 工	雑 品
調査項目	外業									
	内業					1.39	2.39			
	計					1.39	2.39			

(注) 1. この歩掛には、各種構造物の数量計算のほか山腹面積の計算を含む。
2. 規模及び工種の組合せによる補正は、前項 4 施設設計の(注) 3. ①、②に同じ。

8 照 査

(1 件当たり)

種 別		直 接 人 件 費						労務費		材料費
		技師長	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	普通作業員	図 工	雑 品
調査項目	外業									
	内業		0.63		1.26					
	計		0.63		1.26					

(注) 規模及び工種の組合せによる補正は、前項 4 施設設計の(注) 3. ①、②に同じ。

5 設計説明書作成

(削る)

(1件当たり)							
職種 区分	内外業別	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
設計説明書作成	内業		0.8	1.4	1.4		2.3

3－2～3－6 (略)

第4 (略)

第5 林道設計

5－1・5－2 (略)

5－3 一車線林道設計

5－3－1 線形計画、現地調査、線形決定

(1km 当たり)									
区分 名称	内外業別	単位	直接人件費						労務費
			技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	普通作業員
線形計画	内	人	0.58	0.38	0.46	0.66	0.58		
踏 査	外	人		0.25	0.40	0.40	0.35	0.45	
線形決定	外	人		0.38	0.46	0.76	0.68	0.68	2.40
合 計		人	0.58	1.01	1.32	1.82	1.61	1.13	2.40

(注) (略)

5－3－2～5－3－4 (略)

第6 一般構造物設計

6－1～6－5 (略)

6－6 橋梁【予備設計】

9 設計説明書作成

(1件当たり)

種 別 技術者の 名称 調査項目	直 接 人 件 費						労務費		材料費
	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	普通作業員	図工	雑品
設計説明書等作成	外業								
	内業		0.67	1.34 0.68	1.34 0.68	2.17 1.09			
	計		0.67	1.34 0.68	1.34 0.68	2.17 1.09			

(注) 1. 全体計画資料等を与える場合は、下段数値を適用する。

2. 計画作成等業務と設計業務を併せて積算する場合は、この歩掛は計上しない。

(新設)

3－2～3－6 (略)

第4 (略)

第5 林道設計

5－1・5－2 (略)

5－3 一車線林道設計

5－3－1 線形計画、現地調査、線形決定

(1km 当たり)									
区分 名称	(新設)	単位	直接人件費						労務費
	(新設)		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	普通作業員
線形計画	(新設)	人	0.58	0.38	0.46	0.66	0.58		
踏 査	(新設)	人		0.25	0.40	0.40	0.35	0.45	
線形決定	(新設)	人		0.38	0.46	0.76	0.68	0.68	2.40
合 計		人	0.58	1.01	1.32	1.82	1.61	1.13	2.40

(注) (略)

5－3－2～5－3－4 (略)

第6 一般構造物設計

6－1～6－5 (略)

6－6 橋梁【予備設計】

1 ～ 3	(略)
4	設計歩掛 (略) (注) 電算機使用料は基本構造物を対象とし、直接経費として上記歩掛の <u>2</u> %を計上する。
5	(略)
6－7	橋梁【実施設計】 (略)
6－7－1	橋梁上部工【実施設計】
1 ～ 3	(略)
4	設計歩掛 (略) (注) 電算機使用料は基本構造物を対象とし、直接経費として上記歩掛の <u>2</u> %を計上する。
6－7－2	橋台工【実施設計】
1・2	(略)
3	設計歩掛 (略) (注) 電算機使用料は基本構造物を対象とし、直接経費として上記歩掛の <u>2</u> %を計上する。
6－7－3	橋脚工【実施設計】
1・2	(略)
3	設計歩掛 (略) (注) 電算機使用料は基本構造物を対象とし、直接経費として上記歩掛の <u>2</u> %を計上する。
6－7－4	(略)

1 ～ 3	(略)
4	設計歩掛 (略) (注) 電算機使用料は基本構造物を対象とし、直接経費として上記歩掛の <u>1</u> %を計上する。
5	(略)
6－7	橋梁【実施設計】 (略)
6－7－1	橋梁上部工【実施設計】
1 ～ 3	(略)
4	設計歩掛 (略) (注) 電算機使用料は基本構造物を対象とし、直接経費として上記歩掛の <u>1</u> %を計上する。
6－7－2	橋台工【実施設計】
1・2	(略)
3	設計歩掛 (略) (注) 電算機使用料は基本構造物を対象とし、直接経費として上記歩掛の <u>1</u> %を計上する。
6－7－3	橋脚工【実施設計】
1・2	(略)
3	設計歩掛 (略) (注) 電算機使用料は基本構造物を対象とし、直接経費として上記歩掛の <u>1</u> %を計上する。
6－7－4	(略)

第5部 計画作成等業務

第1章 計画作成等業務積算基準

1-1 適用範囲

この積算基準は、治山関係事業及び林道関係事業に係る次の業務に適用する。

- (1) 山地治山等調査
- (2) 治山流域別調査
- (3) 路線全体計画調査
- (4) 地区全体計画調査
- (5) 治山施設点検業務
- (6) 林道橋定期点検業務
- (7) 林道施設災害調査等業務歩掛

1-2・1-4 (略)

第2章～第5章 (略)

第6章 林道施設災害調査等業務歩掛

1 適用範囲

林道施設災害復旧等事業及びこれに類する事業における調査・設計、測量並びに発注者支援業務に適用する。

適用範囲は、1路線当たりの被災箇所数が10箇所以内、かつ1路線当たりの被災延長の合計が300m以内の事業とする。

「第1章計画作成等業務積算基準 1-3 適用に当たっての留意事項」の2及び、「1-4 打合せ等（共通）」については、適用しない。

測量歩掛の測量業務費の構成等については、「第3部 測量業務」の「第1章 測量業務積算基準」に準じて積算するものとする。ただし、「1-4 適用に当たっての留意事項」の2については、適用しない。

2～4 (略)

5 測量歩掛

5-1 (略)

5-2 中心線測量

中心線測量の歩掛は、次表とする。

作業区分	内外業別	編成（人）					所要日数（日）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
中心線測量	外		1	1	1	1		0.12	0.12	0.12	0.12

作業区分	内外業別	延人員（人）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
中心線測量	外		0.12	0.12	0.12	0.12

(削る)

第5部 計画作成等業務

第1章 計画作成等業務積算基準

1-1 適用範囲

この積算基準は、治山関係事業及び林道関係事業に係る次の業務に適用する。

- (1) 山地治山等調査
- (2) 治山流域別調査
- (3) 路線全体計画調査
- (4) 地区全体計画調査
- (5) 治山施設点検業務
- (6) 林道橋定期点検業務
- (新設)

1-2・1-4 (略)

第2章～第5章 (略)

第6章 林道施設災害調査等業務歩掛

1 適用範囲

林道施設災害復旧等事業及びこれに類する事業における調査・設計、測量並びに発注者支援業務に適用する。

適用範囲は、1路線当たりの被災箇所数が10箇所以内、かつ1路線当たりの被災延長の合計が300m以内の事業とする。

調査・設計歩掛の業務委託料の構成等については、「第5部計画作成等業務」の「第1章計画作成等業務積算基準」に準じて積算するものとする。ただし、「1-3 適用に当たっての留意事項」の2及び、「1-4 打合せ等（共通）」については、適用しない。

測量歩掛の測量業務費の構成等については、「第3部 測量業務」の「第1章 測量業務積算基準」に準じて積算するものとする。ただし、「1-4 適用に当たっての留意事項」の2については、適用しない。

2～4 (略)

5 測量歩掛

5-1 (略)

5-2 中心線測量

中心線測量の歩掛は、次表とする。

作業区分	内外業別	編成（人）					所要日数（日）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
中心線測量	外		1	1	1	1		0.12	0.12	0.12	0.12

作業区分	内外業別	延人員（人）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
中心線測量	外		0.12	0.12	0.12	0.12

備考 1. 本歩掛は、杭打、観測の作業を対象としている。

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	3.0%	
通信運搬費等	-	
材料費	1.0%	

備考 1. 本歩掛は、杭打、観測の作業を対象としている。
2. 通信運搬費等及び材料費は、精度管理費の対象としない。

5－3 縦断測量

縦断測量の歩掛は、次表とする。

(被災延長 10m当たり)

作業区分	内外業別	編成（人）					所要日数（日）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
縦断測量	外		1	1	1			0.08	0.08	0.08	

作業区分	内外業別	延人員（人）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
縦断測量	外		0.08	0.08	0.08	

(削る)

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	3.0%	
通信運搬費等	-	
材料費	1.0%	

備考 1. 本歩掛は、観測の作業を対象としている。
2. 通信運搬費等及び材料費は、精度管理費の対象としない。

5－4 横断測量

横断測量の歩掛は、次表とする。

(被災延長 10m当たり)

作業区分	内外業別	編成（人）					所要日数（日）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
横断測量	外		1	1	1	1		0.19	0.19	0.19	0.19

作業区分	内外業別	延人員（人）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
横断測量	外		0.19	0.19	0.19	0.19

(削る)

2. 通信運搬費等及び材料費は、精度管理費の対象としない。

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	3.0%	
通信運搬費等	-	
材料費	1.0%	

5－3 縦断測量

縦断測量の歩掛は、次表とする。

(被災延長 10m当たり)

作業区分	内外業別	編成（人）					所要日数（日）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
縦断測量	外		1	1	1			0.08	0.08	0.08	

作業区分	内外業別	延人員（人）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
縦断測量	外		0.08	0.08	0.08	

備考 1. 本歩掛は、観測の作業を対象としている。
2. 通信運搬費等及び材料費は、精度管理費の対象としない。

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	3.0%	
通信運搬費等	-	
材料費	1.0%	

5－4 横断測量

横断測量の歩掛は、次表とする。

(被災延長 10m当たり)

作業区分	内外業別	編成（人）					所要日数（日）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
横断測量	外		1	1	1	1		0.19	0.19	0.19	0.19

作業区分	内外業別	延人員（人）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
横断測量	外		0.19	0.19	0.19	0.19

備考 1. 本歩掛は、観測（ハンドレベル、ポール使用）の作業を対象としている。
2. 通信運搬費等及び材料費は、精度管理費の対象としない。

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	3.0%	
通信運搬費等	-	
材料費	1.0%	

備考 1. 本歩掛は、観測（ハンドレベル、ポール使用）の作業を対象としている。
2. 横断測量は、精度管理費の対象としない。
3. 通信運搬費等及び材料費は、精度管理費の対象としない。

5－5 土質区分・その他調査

土質区分・その他調査の歩掛は、次表とする。

（被災延長 10m 当たり）

作業区分	内外業別	編成（人）					所要日数（日）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師補	測量技師補	測量助手	測量補助員
土質区分調査	外		1	1	1			0.06	0.06	0.06	
構造物調査等	外			1	1				0.10	0.10	

作業区分	内外業別	延人員（人）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
土質区分調査	外		0.06	0.06	0.06	
構造物調査等	外			0.10	0.10	

（削る）

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	3.0%	
通信運搬費等	-	
材料費	1.0%	

備考 1. 本歩掛は、土質区分調査、構造物調査等の作業を対象としている。
2. ボーリング、サウンディング、土質試験調査等を必要とする場合には、別途、地質・土質調査試験及び解析業務費を積算するものとする。
3. 工種区分・その他調査は、精度管理費の対象としない。
4. 通信運搬費等及び材料費は、精度管理費の対象としない。

5－6 （略）

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	3.0%	
通信運搬費等	-	
材料費	1.0%	

5－5 土質区分・その他調査

土質区分・その他調査の歩掛は、次表とする。

（被災延長 10m 当たり）

作業区分	内外業別	編成（人）					所要日数（日）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師補	測量技師補	測量助手	測量補助員
土質区分調査	外		1	1	1			0.06	0.06	0.06	
構造物調査等	外			1	1				0.10	0.10	

作業区分	内外業別	延人員（人）				
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
土質区分調査	外		0.06	0.06	0.06	
構造物調査等	外			0.10	0.10	

備考 1. 本歩掛は、土質区分調査、構造物調査等の作業を対象としている。
2. ボーリング、サウンディング、土質試験調査等を必要とする場合には、別途、地質・土質調査試験及び解析業務費を積算するものとする。
3. 通信運搬費等及び材料費は、精度管理費の対象としない。

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	3.0%	
通信運搬費等	-	
材料費	1.0%	

5－6 （略）

附 則 この通知は、令和5年4月1日から適用する。